

# 第3章 施策の展開と評価

## 各ページの説明

各環境分野における環境指標（ゴール指標）の達成状況及び評価を行っています。

1

計画指標 (ゴール指標)		自然環境の住民満足度					単年度 2030年度 目標値
2019年度 実績値	16.5	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	25
		目標値	-	-	20.35	-	
		実績値	-	-	-	-	

2

3

【計画指標に対する評価】

自然環境の住民満足度を調査する市民アンケートについては2024年度各町基本計画策定（確定）後を予定しているため、2024年度の目標値達成にむけて、各町で実施済みです。公園管理や水辺環境の整備などの環境保全や定期的な川/トロールなど水辺環境の調査を行い、生き物が住みやすい環境を整えることに努めています。また、特定外来生物であるアライグマの駆除活動は継続しており、生態系への被害防止に努めています。

環境啓発イベントについては、新型コロナウイルスの影響により開催できなかったイベントもありましたが、感染の兆しを懸念しています。また、内容についても、環境啓発における生物調査や、外来種対策と水質改善のための取り組みのように複数の目的を達成するイベントを行うことができ、自然環境の住民満足度が期待できます。

【市民・事業者の行動指針】

- ・開催がある環境啓発イベントに参加する。参加したイベント内容をSNSなどを活用し、周知・発信する。
- ・生き物が住みやすい環境を作るため、地域の環境整備に参加するなど、緑地や水辺での環境保全に努める。

No.	項目名	内容
①	計画指標	各環境分野の指標（ゴール指標）です。
②	計画指標に対する評価	計画指標の達成に向けて実施した業務指標・実行施策から評価を行っています。
③	市民・事業者の行動指針	計画指標に対する評価から、市民や事業者の取り組みでほしいことを記載しています。

各施策における業務指標・実行施策の取組状況及び評価を行っています

1

4

No.	項目名	数値目標 実績値	方向性 取組	注	P3	P4	P5	P6	P7	取組内容	評価	担当課
A	環境目標	1,204.22	ノ	目標値 1204.22 実績値 1204.22						「環境分野の取組状況」を把握・評価するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
B	環境目標	27.9	ノ	目標値 27.9 実績値 27.9						「環境分野の取組状況」を把握・評価するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
C	環境目標の取組状況 「環境分野の取組状況」	40	ノ	目標値 80 実績値 40						環境分野の取組状況を把握・評価するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
D	環境目標の取組状況 「環境分野の取組状況」	130	ノ	目標値 190 実績値 237						環境分野の取組状況を把握・評価するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
E				目標値								
F				目標値								

2

5

No.	取組内容	取組内容	評価	担当課
1	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
2	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
3	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
4	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
5	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
6	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
7	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
8	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
9	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
10	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	環境目標の達成状況を把握するための指標として、環境分野の取組状況を把握するための指標として設定されています。	達成	みどり環境課
11				
12				
13				
14				
15				

3

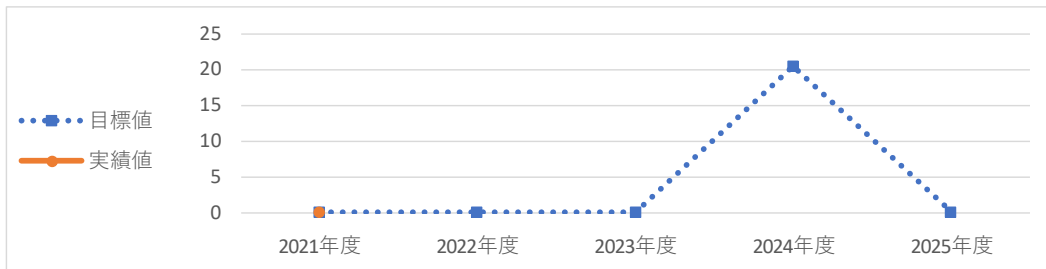
No.	項目名	内容
①	基本情報	各施策の施策目標、環境分野、計画指標、環境目標を記載しています。
②	環境目標に対する評価	各施策における業務指標・実行施策から評価を行っています。
③	関連するSDGsの項目	関連するSDGsの項目です。
④	業務指標の取組状況	施策の進捗状況を把握するため設定された業務指標（定量目標）です。各年度の目標値に対する実績値、取組状況、翌年度の方向性、担当課を記載しています。
⑤	実行施策の取組状況	業務指標に関連した実行施策（定性目標）です。取組状況、翌年度の方向性、担当課を記載しています。

「用語集」(p87～)に掲載されている語句については、本文中の対象語句に「※」を記載しましたので、参考にしてください。

## 1. 自然環境分野

計画指標 (ゴール指標)		自然環境の住民満足度					単位:%
2019年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
16.5	目標値	-	-	-	20.35	-	25
	実績値	-	-	-	-	-	-

※環境基本計画策定(改定)時の市民アンケートに基づくため、2021年度は空欄(次回は2024年度)



### 【計画指標に対する評価】

自然環境の住民満足度を調査する市民アンケートについては2024年度の環境基本計画策定(改定)時を予定しているため、2024年度の目標値達成に向けて、各取組を行っております。公園管理や市民農園※の開設などの緑地保全や定期的な河川パトロールなど水辺環境の整備を行い、生き物が住みやすい環境を整えることに努めています。また、特定外来生物※であるアライグマの駆除数は増加しており、生態系への被害防止につながっているとと言えます。

環境啓発イベントについては、新型コロナウイルスの影響により開催できなかったイベントもありましたが、復調の兆しを見せています。また、内容についても、農業体験における生物調査や、外来種駆除と水質改善のためのかいぼり※のように複数の目的を達成するイベントを行うことができ、自然環境の住民満足度向上が期待できます。

### 【市民・事業所の行動指針】

- ・興味がある環境啓発イベントに参加する。参加したイベント内容をSNS※などを利用し、周囲に啓発する。
- ・生き物が住みやすい環境を作るため、地域の清掃活動に参加するなど、緑地や水辺での環境保全に努める。

## 【施策1】生物多様性への取組

### 1. 基本情報

施策目標	生物多様性※の保全と生態系サービス※の持続可能な利用に向けて、生物多様性を「知る」、生き物の生息・生育環境を「守り、育てる」などの施策を展開し、樹林地、水辺、河川などの良好な自然環境を保全するとともに、上尾市本来の自然の豊かさを将来の世代に伝えていきます。			
環境分野	自然環境分野			
計画指標	自然環境の住民満足度			
	2019年度実績値	16.5%	➡	2030年度目標値 25%
環境目標	自然との共生			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>緑地面積・緑地率※の数値については、計測時期ではなかったため反映できていないが、「ふるさとの緑の景観地※」でナラ枯れなどの伐採・剪定を行うことで、生物が住みやすい環境の保全に努めていることが伺えます。また、良好な水辺環境を整備するため、河川パトロールや水田や農業用排水路の維持管理作業も実施できています。</p> <p>特定外来生物などによる被害防止については、特定外来生物であるアライグマの駆除数が基準年度実績値を大きく上回ったので、今後も円滑な駆除に努めます。</p> <p>自然観察会の参加者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大した時期もあり、開催に至らなかった経緯がありますが、今後開催の際は、引き続き、周知・啓発に努めます。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	緑地面積	1,264.22	↗ ha
B	緑地率	27.8	↗ %
C	自然観察会の参加者（累計） （生物多様性への取組）	40	↗ 人
D	特定外来生物の駆除数（アライグマ）	136	↗ 頭/年
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	市内の緑地や動植物を保護するため、特別緑地保全地区※の指定や「ふるさとの緑の景観地」の保全に努めます。
②	地域で親しまれている雑木林や貴重な樹木などを保全するため、保存樹林・保存樹木の保全に努めます。
③	環境イベント等において情報発信を行い、自然と人との共生につながる生物多様性に関して市民の理解を深めます。
④	市内に生息している動植物の種類や生息環境を知るため、市民参加による自然観察会を行います。
⑤	生物が生息しやすい水辺環境を作るため、河川の水質改善や水辺空間の再生などに努めます。
⑥	多様な生物の生息・生育の場として、水田や畑、農業用排水路などの「農」の環境を保全します。
⑦	地域本来の生物を保護するため、特定外来生物などによる生態系への被害防止に努めます。
⑧	生き物の生息状況を把握するため、市民団体や環境保護団体にヒヤリングを行うことで情報や知識の集約に努めます。
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	1264.22					ナラ枯れや架線支障木の伐採・剪定、除草等の植栽管理と木柵修繕を実施した。	継続	みどり公園課
実績値	1264.22							
目標値	27.8					「上尾市自然環境保全と緑化推進に関する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の土地所有者に奨励金を支払った。	継続	みどり公園課
実績値	27.8							
目標値	80					令和4年1月下旬の開催予定であったが、その時期に新型コロナウイルスの感染状況が拡大の一途をたどっていたため、主催者判断により中止した。	継続	環境政策課
実績値	40							
目標値	150					農政課と連携し、捕獲要望者に檻の貸し出し・設置を行った。県のアライグマ防除実施計画に基づき、捕獲されたアライグマを円滑に駆除等対応した。	継続	生活環境課
実績値	237							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
ナラ枯れや架線支障木の伐採・剪定、除草等の植栽管理と木柵修繕を実施した。	継続	みどり公園課
「上尾市自然環境保全と緑化推進に関する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の土地所有者に奨励金を支払った。	継続	みどり公園課
令和3年10月に、市民の生物多様性への理解を深めるため、生物多様性に関する学習会を開催した。また、12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。	継続	環境政策課
令和3年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、ホームページ以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。	継続	環境政策課
構造物の修繕や堆積土の浚渫を実施したことで、水質改善や水辺空間の再生を図った。	継続	道路河川課
水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼き※を実施し、適切な維持管理を行った。	継続	農政課
県のアライグマ防除計画に基づき、捕獲されたアライグマを円滑に駆除等対応できた。	継続	生活環境課
生き物の生息状況を把握する手法を検討し、「市民参加型の生き物調査」を実施することを決定した。	調査方法を検討する。	みどり公園課 環境政策課

## 【施策2】自然とのふれあいの促進

### 1. 基本情報

施策目標	自然観察会や農業体験といった市民が自然とふれあうことができる機会を創出するとともに、市民の参加を促進できる魅力的な施策の実施に努めます。 また、環境活動の支援や環境イベントの共同開催など、市民団体や事業者との協働により、自然とのふれあいを促進します。			
環境分野	自然環境分野			
計画指標	自然環境の住民満足度			
	2019年度実績値	16.5%	➡	2030年度目標値 25%
環境目標	自然との共生			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>自然とのふれあいを促進するため、各課が豊かな自然環境と触れ合う機会を提供しています。どのイベントも広報、ホームページなど周知を行っていますが、自然観察会ではイベント案内希望者や地元事業者団体などにも周知し、イベントの認知度を高めています。</p> <p>また、環境保護団体や事業者の環境活動を支援するため、上尾駅自由通路及び中学校における環境パネル展示を実施することで、事業者等のPRに貢献しています。農業体験については、生き物調査を同時に行うことで、農業だけでなく、生き物の生育環境などを学ぶことができ、今後も継続できるよう努めます。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	自然学習館※におけるイベントの参加率	80	↗ %
B	自然観察会の参加者数（累計） （自然とのふれあい）	39	↗ 人
C	農業体験教室の開催数（作付け・収穫）	8	→ 回/年
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	市民が自然とふれあう機会を増やすため、市民団体や事業者と協働し、学習・体験教室などの体験型環境学習を充実させます。
②	保存樹林の中でも良好な自然環境を形成している箇所を特別緑地※に指定し、「ふれあいの森※」の保全に努めます。
③	市民が自然とふれあう機会を増やすため、自然観察会などの体験型環境学習を充実させます。
④	市民がふれあえる自然を守るため、市民団体や事業者が行う自然環境の保全活動を支援します。
⑤	身近な自然に親しんでもらうため、市内に残された貴重な自然を環境学習の場として活用します。
⑥	市民が農とふれあう機会を増やすため、農業体験などの体験型学習を充実させます。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	81					新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、広報やホームページ等でイベントの周知を行い、集客に努めた。	継続	みどり公園課
実績値	98.2							
目標値	133					広報、ホームページへの掲載のほか、環境推進協議会会員団体、地元の事業者団体や大学にも案内を送付し、参加者を募った。	継続	環境政策課
実績値	161							
目標値	8					農業体験教室(さつまいも、田植え、大根、じゃがいも)の植付け、収穫を実施した。田植え教室では水田に生息する生き物の調査も同時に行った。	継続	農政課
実績値	8							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
自然学習館におけるイベントでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、広報誌やホームページ等でイベントの周知を行い集客に努めた。	継続	みどり公園課
市民に開放されたオープンスペースとして、樹木等の適切な維持管理に努めた。	継続	みどり公園課
令和3年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、HP以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。	継続	環境政策課
上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	継続	環境政策課
令和3年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、HP以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。	継続	環境政策課
農業体験教室(さつまいも、田植え、大根、じゃがいも)の植付け、収穫を実施した。田植え教室では水田に生息する生き物の調査も同時に行った。	継続	農政課

## 【施策 3】緑地の保全・創出

### 1. 基本情報

施策目標	<p>身近な緑は、市民に安らぎと憩いの場を提供するとともに、ヒートアイランド現象※への対策としても有効です。市内に残された貴重な緑地を保全するため、特別緑地保全地区の指定や緑の公有地化を推進するとともに、民間の緑地・樹木の維持管理に協力します。</p> <p>また、計画的な公園の整備や緑化指導により、地域の緑の創出を図ります。</p>			
環境分野	自然環境分野			
計画指標	自然環境の住民満足度			
	2019年度実績値	16.5%	➡	2030年度目標値 25%
環境目標	自然との共生			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>公園については、新たに1箇所と公園管理協定※の締結、13箇所を都市公園として告示しており、地域に親しまれている緑の維持管理に努めています。森林環境譲与税の積立額が増えており、木材利用など適切な運用ができるよう、各課に照会・周知を行っています。その他、緑地率を向上させるため、特定工場の指導や上尾平方線の緑地スペースの確保に努めました。</p> <p>また、生産緑地※の管理手法として、市民農園の開設がしやすくなり、新規に農園を開設することで、生産緑地の保全につながっています。地産地消※を促進するため、「あげお朝市※」などを開催するなど、地域農業の活性化に貢献しています。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	緑地面積（再掲）	1,264.22	↗ ha
B	緑地率（再掲）	27.8	↗ %
C	森林環境譲与税基金※積立額	8,702,000	↗ 円
D	協定締結公園※数	63	↗ 箇所
E	樹木管理公園※数	132	→ 箇所
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	市内の緑地や動植物を保護するため、特別緑地保全地区※の指定や「ふるさとの緑の景観地」の保全に努めます。【施策 1 と同じ】
②	地域で親しまれている雑木林や貴重な樹木などを保全するため、保存樹林・保存樹木※の保全に努めます。【施策 1 と同じ】
③	ふれあいの森等の緑地を維持管理するため、緑の募金を主体とした「みどりの基金」の適切な運用に努めます。
④	森林環境譲与税基金の適切な運用に努めます。
⑤	身近な自然や公園を維持管理するため、市民や事業者との協働による緑のパートナーシップ制度※の適切な運用に努めます。
⑥	「上尾市開発行為における公園および緑地の設置に関する基準」に基づき、事業者が開発行為を行う際には、開発区域の緑化を指導します。
⑦	まちの緑を維持するため、公園の樹木などを適切に管理します。
⑧	市内の緑の状況を把握し、今後の施策に活かすため、必要に応じて「みどりの実態調査」を行います。
⑨	「工場立地法」に基づき、特定工場の緑地率の向上を目指します。
⑩	市街地に残る農地や生産緑地を貴重な緑の空間として位置づけ、その保全を図ります。
⑪	都市計画道路の新設・改築の際には、街路樹等緑地空間の整備を検討するなど、道路環境の整備・管理に取り組みます。
⑫	地域農業を活性化させるため、直売施設の充実や「あげお朝市」に対する支援や地場産品の学校給食への活用など地産地消を促進します。



	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	1264.22					ナラ枯れや架線支障木の伐採・剪定、除草等の植栽管理と木柵修繕を実施した。	継続	みどり公園課
実績値	1264.22							
目標値	27.8					「上尾市自然環境保全と緑化推進に関連する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の土地所有者に奨励金を支払った。	継続	みどり公園課
実績値	27.8							
目標値	18,492,000					令和4年度の森林環境譲与税基金の用途について、庁内照会を行った。	継続	みどり公園課
実績値	18,639,000							
目標値	64					大谷北部第四土地区画整理地内に整備したグラウンドゴルフパークにおいて公園管理協定を締結した。	継続	みどり公園課
実績値	64							
目標値	132					13公園を都市公園として告示した。	継続	みどり公園課
実績値	145							
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
ナラ枯れや架線支障木の伐採・剪定、除草等の植栽管理と木柵修繕を実施した。	継続	みどり公園課
「上尾市自然環境保全と緑化推進に関連する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の土地所有者に奨励金を支払った。	継続	みどり公園課
庁内での職場募金及び法人、団体又は個人から寄附を頂き、上尾の優れた自然を取得し保全する活動にあてる。	継続	みどり公園課
令和4年度の森林環境譲与税基金の用途について、庁内照会を7月に行い、3課より申出があった。木材利用、CO2排出量相殺事業など森林環境譲与税基金の適切な運用に取組んだ。	継続	みどり公園課
グラウンドゴルフパークにおいて、良好な都市環境と健全な街づくりに資することを目的とし、公園管理協定を締結した。	継続	みどり公園課
開発行為許可申請時に適切な緑化指導を行った。	継続	みどり公園課
13公園を都市公園として告示し、指定管理業務により樹木を適切に管理している。指定管理者の上尾市地域振興公社は、長年、市内の都市公園の指定管理業務を行っており、樹木管理について豊富な知識と技能を有している。	継続	みどり公園課
第2次上尾市緑の基本計画の計画期間の初年度であるため、実施していない。	緑の基本計画改定時期に実施するため、未調査	みどり公園課
特定工場において、敷地内の変更等の相談があった際には緑地面積並びに緑地率の向上を図るよう助言を実施した。	継続	商工課
特定生産緑地の制度を周知し、約90%の指定同意を得たことで、緑地率の維持につながった。緑地率を増やすために、生産緑地の追加指定の準備を進めている。生産緑地の管理手法として、市民農園の開設がしやすくなったことをホームページ等で周知し、令和3年度に新たに1園の開設希望者が現れた（今後開園予定。これまで2園が開設されており、計3園となる）。	継続	みどり公園課
（都）上尾平方線において、緑地スペースを新たに設置し、年に2回、季節の草花を植えるなど彩りのある道路環境の管理を図った。	継続	道路河川課
あげお朝市と夕市を8回、軽トラ・ファーマーズマーケットを5回開催した。その他、アリオ上尾の秋の食フェスに出店して地元産野菜のPRを行った。	継続	農政課

## 【施策 4】水辺環境の保全・整備

### 1. 基本情報

施策目標	<p>水辺環境に地域の方が関心を持ち、地域の顔となる身近な水辺環境を再生・創造するため、河川や池、農業用排水路などの水辺環境の維持管理を行います。</p> <p>また、自然体験等の環境教育の場として位置付けるとともに、地域の活性化と積極的な水辺環境保全活動が得られるよう推進します。</p>			
環境分野	自然環境分野			
計画指標	自然環境の住民満足度			
	2019年度実績値	16.5%	➡	2030年度目標値 25%
環境目標	自然との共生			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>良好な水辺環境の維持管理を行うため、定期的なパトロールを行うことができ、不法投棄※の件数は減っていることから、パトロールの効果が出ていることが伺えます。水田や農業用排水路についても藻刈り・浚渫・清掃などを行い、環境教育の場として水田や農業用排水路を適切に維持管理できています。</p> <p>また、かいぼりについては、市民参加型外来種駆除イベントとして実施し、300人以上の市民が参加し好評でした。引き続きイベントを通じた水質維持や、外来種駆除に努めます。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	主要河川パトロール回数	36	→ 回/年
B	水路等パトロール回数	12	→ 回/年
C	河川における不法投棄の件数	8	→ 件/年
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	「かいぼり」実施による水質維持や外来種駆除に努めます。
②	生物が生息しやすい水辺環境を作るため、河川の水質改善や水辺空間の再生などに努めます。【施策 1 と同じ】
③	水辺に親しめるような護岸づくりについて整備方針を立て、段階的に改善・整備します。
④	堤防や護岸※等の損傷箇所の発見のための河川パトロール等を実施します。
⑤	不法投棄の監視のため、河川パトロール等を実施します。
⑥	潤いとやすらぎのある景観や環境教育の場を保つため、水田や農業用排水路といった水辺環境を保全・管理します。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	36					芝川・鴨川・原市沼川周辺の河川パトロールを月1回実施し、維持管理上必要な構造物の破損、土砂の堆積状況の確認を実施した。	継続	道路河川課
実績値	36							
目標値	12					河川等の不法投棄に関するパトロールを月1回実施できた。	継続	道路河川課
実績値	12							
目標値	3					河川パトロール等を12回実施し、不法投棄を発見し次第撤去した。	継続	建設管理課
実績値	4							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
自然再生活動を実施することで、水質の回復、カイツブリの営巣、絶滅危惧種ミスアオイの再生などを確認した。市民参加型外来種駆除イベントには300人以上の市民が参加した。3年間の取り組みと成果を報告書としてまとめて、公表した。	継続	みどり公園課
構造物の修繕や堆積土の浚渫等を実施したことで、水質改善や水辺空間の再生を図った。	継続	道路河川課
(準)上尾中堀川において新たに護岸改修を実施する計画であり、検討を実施している。	継続	道路河川課
芝川・鴨川・原市沼川周辺の河川パトロールを月1回実施し、維持管理上必要な構造物の破損、土砂の堆積状況の確認を実施した。	継続	道路河川課
河川等の不法投棄に関するパトロールを月1回実施できた。	継続	道路河川課
水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼きを実施し、適切な維持管理を行った。	継続	農政課

## 【コラム】第2次上尾市緑の基本計画

「緑の基本計画」とは、市町村が都市緑地法に基づき定めるもので、緑地の適正な保全や緑化の推進を、総合的かつ計画的に実施するために、緑地の保全から公園・緑地の整備、その他の公共施設、民有地の緑化の推進まで、市民・事業者・行政が一体となって緑豊かなまちづくりを進めていくための指針となるものです。

「緑地率」や「公園管理協定を締結した公園数」など、第3次上尾市環境基本計画と関連した施策もあるため、所管のみどり公園課と進捗を共有して施策を進めてまいります。

—緑の将来像—

皆で多彩な緑をつなぐ・ふれあう 共生可能なまちづくり

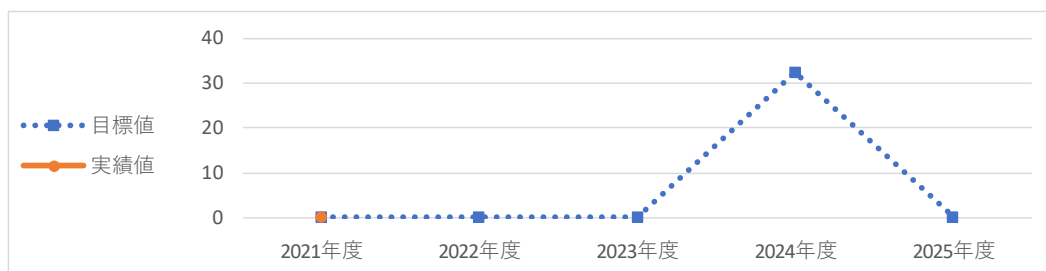
### 【3つの柱】

1. “市民”“事業者”“行政”の3者が協働して、上尾市の多彩な緑をつなぎ、後世に受けつぎます。
2. 緑や生き物の保全・再生と創出を図り、自然とふれあうことで生活の中で緑の潤いを感じるまちづくりを目指します。
3. 人、緑、生き物の関係を自然との共生に基づくサイクルで位置づけ、緑や生き物の大切さを明確にします。

## 2. 都市・生活環境分野

計画指標 (ゴール指標)		都市・生活環境の住民満足度					単位:%
2019年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
29.9	目標値	-	-	-	32.2	-	35
	実績値	-					

※環境基本計画策定(改定)時の市民アンケートに基づくため、2021年度は空欄(次回は2024年度)



### 【計画指標に対する評価】

都市・生活環境の住民満足度を調査する市民アンケートについては、環境基本計画策定(改定)時の2024年度を予定しているため、2024年度の目標値達成に向けて、各取組を行っております。公害の防止については、大気汚染、騒音・振動、その他の公害の防止の取組は調査や事業所への指導を行うことができます。しかし、水質汚濁については、排水基準に適合しなかった事業所が例年より多くありました。速やかな現地調査による原因特定が問題収束につながるため、継続して指導します。また、ぐるっとくんの利用率が向上しており、CO2排出抑制の観点から快適な生活環境の整備につながっていると云えます。


快適環境の構築については、農地保全のために市民農園の利用を促進しており、利用者数、新規開設数が増加しています。また、公園整備を行うための市民アンケートを実施し、市民との協働を図っています。その他、良好な景観保全のために、クリーン上尾運動※における環境美化の推進や、違反屋外広告物看板や自転車の撤去を行っており、都市・生活環境の満足度向上に貢献しています。

### 【市民・事業所の活動方針】

- ・エコドライブ※やアイドリングストップ※の実践や、市内循環バスぐるっとくん等公共交通機関を利用するなど排気ガス抑制に努める。
- ・良好な景観保全のため、地域の清掃活動へ参加する。参加した内容をSNSを通じて、周囲に啓発する。
- ・市民農園の開設や、市民農園の利用など、農地保全に協力する。

## 【施策 5】大気汚染の防止

### 1. 基本情報

施策目標	大気汚染の原因となる揮発性有機化合物（VOC）※や浮遊粒子状物質の発生を抑制するため、市内の大気の状態を継続して把握するとともに、市民・事業者への意識啓発に努めます。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%		2030年度目標値 35%
環境目標	公害の防止			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>市内の大気状況を把握し、大気汚染の防止に関する意識啓発を行うほか、継続的な事業所への指導、立ち入り検査を行っています。指定ばい煙発生施設への立入調査が例年通り1件、アイドリングストップの指導率100%と目標を達成できています。今後も県との連携を強化し、良好な都市・生活環境の保全に努めます。</p> <p>また、市内循環バス「ぐるっとくん」については、啓発資料等、十分な周知を実施できていくことが伺えます。コロナ禍から徐々に利用率が増えているため、今後も利用率の向上を促進し、自動車の排出ガス抑制に努めます。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	立入事業所件数	1	→ 件/年
B	アイドリングストップ指導率	100	→ %
C	ぐるっとくんの年間利用者数	480,306	↗ 人/年
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	市内の大気環境を把握するため、市内の観測所で定期的到大気観測を行うほか、迅速な情報収集や効果的な対策のため県との連携を強化します。
②	揮発性有機化合物の排出を抑制するため、大気汚染の防止に関する意識啓発を行い、自主的な取組を促進します。また、PRTR 制度※について広報に努めます。
③	工場・事業場等による大気汚染を防止するため、ばい煙発生施設やボイラー等を設置している事業者に対し、定期的な立入検査とともに、必要な指導を行います。
④	一定以上の駐車場を設置する事業者に、アイドリングストップの表示等について指導を行います。
⑤	自動車からの排出ガスを抑制するため、市民や事業者にエコドライブやアイドリングストップの実践を促します。
⑥	自動車からのCO <sub>2</sub> やその他の排出ガスを抑制するため、市内循環バスを中心とする公共交通機関の充実や利便性の向上を図り、市民や事業者が公共交通機関利用の実践を促します。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	1					市内事業所のうち1箇所について、指定ばい煙発生施設への立入調査及び測定を実施した。	継続	生活環境課
実績値	1							
目標値	100					開発行為等に伴い、20台以上収容可能又は面積500㎡以上の駐車場を新たに設置する者に対して、アイドリングストップの看板設置等により周知するよう指導した。(26件)	継続	生活環境課
実績値	100							
目標値	368,400					運航時刻、ルート情報、バスロケーションシステムについて、HPおよび各種時刻表、マップに記載し、市役所、支所・出張所にて配布。転入者に対して公共交通マップを配布。運転免許証自主返納者に、ぐるっとくんの乗車回数券、時刻表、総合交通案内、ぐるっとくんROADマップを配布した。配布枚数の概数は、ぐるっとくんROADマップ4,000部、公共交通マップ2,000部、時刻表約16,200部、総合交通案内1400部。	継続	交通防犯課
実績値	382,168							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
市内の観測所の測定の結果、基準内であったことを確認した。 県（大気環境課・中央環境管理事務所）との間で緊急連絡網を整備し、連携を強化した。	継続	生活環境課
揮発性有機化合物及びPRTR制度については、県の協力依頼のもとに実施する事業であるが、協力依頼はなかった。	継続	生活環境課
市内事業所のうち1箇所について、指定ばい煙発生施設への立入調査及び測定を実施した。	継続	生活環境課
開発行為等に伴い、20台以上収容可能又は面積500㎡以上の駐車場を新たに設置する者に対して、アイドリングストップの看板設置等により周知するよう指導した。(26件)	継続	生活環境課
啓発資料「くらしレシピ」において、エコドライブの啓発を行った。	継続	環境政策課
運行時刻、ルート情報、バスロケーションシステムについて、HPおよび各種時刻表、マップに記載し、市役所、支所・出張所にて配布。転入者に対して公共交通マップを配布。運転免許証自主返納者に、ぐるっとくんの乗車回数券、時刻表、総合交通案内、ぐるっとくんROADマップを配布した。配布枚数の概数は、ぐるっとくんROADマップ4,000部、公共交通マップ2,000部、時刻表約16,200部、総合交通案内1400部。	継続	交通防犯課

## 【施策 6】水質汚濁の防止

### 1. 基本情報

施策目標	市内の河川や地下水の水質汚濁の状況を継続して把握するとともに、市民・事業者への意識啓発を実施するなど、水質浄化対策を推進します。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%	➡	2030年度目標値 35%
環境目標	公害の防止			

### 2. 環境目標に対する評価

河川や地下水の水質汚濁の状況を管理するため、市民に対して継続的な周知が必要です。合併処理浄化槽※への転換に対する補助については、広報等で周知を行うことで、17件補助することができ、今後も合併処理浄化槽への転換を促します。また、生活排水による環境負荷を低減するため、浄化槽による生活排水処理を特に必要とする区域について、浄化槽処理促進区域として指定し、周知しました。

水質調査については、排水基準に適合しなかった事業所があり、改善するよう指導を行いました。引き続き、事業所への管理指導を行います。河川等の水質保全のため、公共下水道の整備も計画的に進めており、普及率も上昇していますが、工事に一部繰越が発生したため、目標値は若干下回っています。工事遅延の要因は事前の想定が困難であるため、計画的な整備に努めます。

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	河川調査地点数	17	→ 箇所/年
B	工場・事業場の排水基準の適合率	93	↗ %
C	単独処理浄化槽※から合併処理浄化槽への転換件数	19	→ 件/年
D	公共下水道の普及率	83.2	↗ %
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	家庭の生活雑排水による環境負荷を低減するため、市民に生活排水に関する配慮事項を具体的に示し、周知します。
②	河川や地下水の水質状況を把握するため、定期的な水質調査を行い、汚染確認時には適切な指導と対策を実施します。
③	工場・事業場等による水質汚濁を防止するため、定期的な立入検査とともに、必要な指導を行います。
④	生活排水を適正に処理し、河川等の水質汚濁を防止するため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対し補助します。
⑤	河川の水質浄化を行うため、流域の自治体と組織した連絡協議会に参加し、効果的な対策を広域的に取り組みます。
⑥	河川等の公共用水域の水質保全のため、公共下水道の整備を計画的に進めます。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	



	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	17					市内を流れる河川・下水路のうち17箇所で生活環境項目等の水質調査を実施した。また、市内の地下水のうち1箇所で概況調査、8箇所で継続監視調査を実施した。	継続	生活環境課
実績値	17							
目標値	89					水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例に基づく特定施設を設置している43事業所に立入調査を行い、排水状況の分析調査を行った。排水基準を満たしている事業所は35箇所、排水基準が不適合の事業所は8箇所であった。不適合であった事業所に改善するよう指導した。	継続	生活環境課
実績値	81							
目標値	18					単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助について、ホームページや広報等で情報提供し、17件の転換及び補助金の交付を実施した。	継続	生活環境課
実績値	17							
目標値	84.2					河川等の公共用水域※の水質保全のため、事業計画区域の公共下水道の整備を行った。(現地踏査・管路施設の設計・工事の発注)(対象地域：中新井、小敷谷、大谷第二、壱丁目、大谷本郷、向山)	継続	下水道施設課
実績値	84							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
浄化槽によるし尿および生活雑排水の適正な処理を特に促進する必要があると認められる区域を、浄化槽処理促進区域として指定し、市民に周知した。	継続	生活環境課
市内を流れる河川・下水路のうち17箇所で生活環境項目等の水質調査を実施した。また、市内の地下水のうち1箇所で概況調査、8箇所で継続監視調査を実施した。	継続	生活環境課
特定施設を設置している43事業所に立入調査及び分析を行った。排水基準を満たしている事業所は35箇所、排水基準が不適合の事業所は8箇所であった。不適合であった事業所に改善するよう指導した。	継続	生活環境課
単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助事業について、ホームページや広報あげお等で情報提供し、17件の転換及び補助金の交付を実施した。	継続	生活環境課 下水道施設課
芝川・新芝川水環境改善連絡会に出席し、行政間での情報共有を図っている。	継続	下水道施設課 建設管理課
河川等の公共用水域の水質保全のため、事業計画区域の公共下水道の整備を行った。(現地踏査・管路施設の設計・工事の発注)(対象地域：中新井、小敷谷、大谷第二、壱丁目、大谷本郷、向山)	継続	下水道施設課

## 【施策 7】騒音・振動の防止

### 1. 基本情報

施策目標	騒音・振動の被害を防止するため、市内の道路交通騒音・振動の状況を継続して把握するとともに、市民・事業者に対し、騒音・振動の発生抑制について啓発・指導を行います。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%	➡	2030年度目標値 35%
環境目標	公害の防止			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>騒音・振動の被害防止するため、道路交通センサスに基づいた道路の騒音・振動の測定を行っており、要請限度の達成率は目標値を上回っています。その他、騒音・振動の相談があれば、発生抑制の啓発・指導を行っており、市民の快適な生活環境の維持につながっていることが伺えます。</p> <p>また、住工が混在する準工業地域（地頭方地区）において、地域の特性を踏まえた地区計画を策定し、市民とともに住環境に配慮した適正な土地利用を図ることができました。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	道路騒音・振動にかかる要請限度※の達成率	95.8	→ %
B	工業地域及び準工業地域における地区計画策定数（累計）	3	↗ 件
C			
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況


No.	実行施策
①	市内の道路環境の改善を図るため、騒音・振動測定により道路交通騒音や振動の状況を把握し、補修の必要がある場合には道路管理者に要請します。
②	市民の快適な生活環境を維持するため、市民・事業者に対し、騒音・振動の発生抑制について啓発・指導を行います。
③	住工混在による騒音・振動の問題を未然に防ぐため、土地利用の適正化を図ります。
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	96					道路交通センサに基づいた道路の騒音・振動について、専門業者に委託し、測定・分析を行った。	継続	生活環境課
実績値	97.3							
目標値	4					上尾市街づくり推進条例に基づき、地区住民が主体となる街づくり協議会の活動支援を通して地区計画を策定した。（地頭方地区街づくり協議会）	継続	都市計画課
実績値	4							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
道路交通センサに基づいた道路の騒音・振動について、測定・分析を行った。	継続	生活環境課
騒音・振動に関する規制について、ホームページ等により情報提供を行った。また、騒音は47件、振動は8件指導した。	継続	生活環境課
住工が混在する準工業地域（地頭方地区）において、地域の特性を踏まえた地区計画を策定し、適正な土地利用を図った。	継続	都市計画課

## 【施策 8】その他の公害の防止

### 1. 基本情報

施策目標	悪臭、地盤沈下、地下水・土壌汚染等の状況を継続して把握するとともに、市民・事業者に対し、公害防止に向けた啓発・指導を行います。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%		2030年度目標値 35%
環境目標	公害の防止			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>悪臭に関する苦情に対する現地調査や野焼きパトロールは滞りなく行うことができ、事業所などへ指導を行っています。</p> <p>ダイオキシン類※の調査や空間放射能・食品放射能の測定については、定期的な調査を行っており、安全であったことを確認できています。</p> <p>建築物の解体等の工事のうち、特にアスベスト※の飛散するおそれが高いものについては、立入検査を実施し、アスベストの飛散がなかったことやアスベストの廃棄処理が適切であったことを確認できています。</p> <p>以上のとおり、その他の公害についても定期的な調査・測定を行っており、市民・事業所への指導・啓発を行うことができています。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	悪臭発生源への指導実施率	100	→ %
B	ダイオキシン類等の環境基準※の達成状況（大気）	100	→ %
C	野焼きパトロール回数	6	→ 回/年
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	上尾市役所での空間放射線を測定し、結果を広く公表します。市内の農作物の食品放射能を測定し、事業者にお知らせします。
②	基準値を超える放射性物質※が検出された場合は、除染※、食材の使用停止および農作物の販売停止などの措置を実施します。
③	市内の工場・事業場等からの悪臭を防止するため、発生状況を把握し、発生源への指導を実施します。
④	地盤沈下を防止するため、県とともに継続的な調査および監視を行います。
⑤	河川や地下水の水質状況を把握するため、定期的な水質調査を行い、汚染確認時には適切な指導と対策を実施します。【施策 6 と同じ】
⑥	工場・事業場等による土壌汚染を防止するため、事業者に対し、土壌汚染防止に関する意識啓発や指導を行います。
⑦	市内のダイオキシン類の汚染実態を把握するため、大気および河川のダイオキシン類の調査を実施します。
⑧	ばい煙・悪臭・ダイオキシン類の排出抑制を図るため、野焼きの禁止、もしくは自粛するよう指導します。
⑨	アスベストによる健康被害を防止するため、事業者が建築物の解体工事等を実施する際には、アスベストの飛散防止の措置を講じ、適正な廃棄物処理を実施するよう指導します。
⑩	アスベストによる健康被害を防止するため、アスベストを使用している民間建築物を把握します。
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	100					悪臭に関する苦情を受付し、速やかに現地調査し、必要に応じて指導した。(52件)	継続	生活環境課
実績値	100							
目標値	100					適切な精度管理のもと、市内4箇所で大気(年2回)と水質(年1回)のダイオキシン類調査を実施した。	継続	生活環境課
実績値	100							
目標値	6					小型焼却炉等を保有する事業者や過去に野焼きを繰り返し行っている場所に対して、野焼きパトロールを実施した。(8回)	継続	生活環境課
実績値	8							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
上尾市役所で空間放射線量の測定を毎月実施し、ホームページで公表した。また、食品放射能の測定を実施し、測定結果を通知した。(3件)	継続	生活環境課
空間放射能及び食品放射能の測定の結果、基準に適合するものであったことを確認した。	継続	生活環境課
悪臭に関する苦情を受付し、速やかに現地調査し、必要に応じて指導した。(52件)	継続	生活環境課
地盤沈下の注意報等の発令に伴い、県の協力依頼のもとに調査・監視を行う事業であるが、協力依頼はなかった。	継続	生活環境課
市内を流れる河川・下水路のうち17箇所では生活環境項目等の水質調査を実施した。また、市内の地下水のうち1箇所では概況調査等を実施した。また、8箇所では継続監視調査を実施した。	継続	生活環境課
土壌汚染防止の意識啓発や指導は、県の協力依頼のもとに実施する事業である。1箇所について、県の依頼に基づき、住民周知に協力した。	継続	生活環境課
適切な精度管理のもと、市内4箇所で大気(年2回)と水質(年1回)のダイオキシン類調査を実施した。	継続	生活環境課
市内事業所のうち1箇所について、ばい煙発施設への立入検査及び測定を実施した。小型焼却炉等を保有する事業者等に対して、野焼きパトロールを実施した。(8回)	継続	生活環境課
国及び県のマニュアルに沿って、アスベストの飛散防止対策と適正な廃棄物の処理を指導した。また、特定建築材料が使用されている建築物の解体については、事前に立入調査を実施した。(3件)	継続	生活環境課
アスベストの分析調査費用の補助について、市ホームページにより情報提供を行い、分析調査を1件実施した。	継続	建築安全課

## 【施策 9】公園の整備

### 1. 基本情報

施策目標	市民が身近に親しめる公園を整備し、既存公園の改修や協働による維持管理を行います。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%	➡	2030年度目標値 35%
環境目標	快適環境の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>改修を行った公園については、公園の一部改修・修繕ではなく、計画に基づいた公園全体を対象に修繕・更新を図るものとしたため、実績に反映されていないものとなっています。今後は目標値の精査を行い、令和2年度に策定した「上尾市公園施設維持管理更新計画」に基づいた維持管理を実施します。</p> <p>また、市民のニーズにあった公園整備を行うために、市民アンケートを実施しています。市民にとって身近に楽しめる公園を目指すため、今後も市民の声を参考に公園整備を行っていきます。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	都市公園の面積	93.86	↗ ha
B	市民1人当たりの都市公園面積	4.1	↗ ㎡
C	可住地面積当たりの公園面積の割合	2.1	→ %
D	協定締結公園数（再掲）	63	↗ 箇所
E	改修を行った公園箇所数	9	→ 箇所
F			

### 5. 実行施策の取組状況


No.	実行施策
①	市民の身近な憩いの場を増やすため、土地区画整理事業で確保した用地を新たな公園として整備します。
②	市民のニーズにあった公園を整備するため、設計から維持管理まで地域住民の参加を呼びかけます。
③	身近な自然や公園を維持管理するため、市民や事業者との協働による緑のパートナーシップ制度の適切な運用に努めます。【施策 8 と同じ】
④	身近で自然とふれあい、学べる場を守るため、公園の維持管理に努めます。
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	97.96					日々寄せられる苦情や要望について、委託依頼書や公園相談票を活用し、指定管理者と情報を共有し、迅速な対応に努めた。	継続	みどり公園課
実績値	97.95							
目標値	4.3					大谷北部第二土地区画整理地内の街区公園1箇所の整備を行った。	継続	みどり公園課
実績値	4.3							
目標値	2.1					開発行為許可申請時に適切な緑化指導を行った。	継続	みどり公園課
実績値	2.5							
目標値	64					大谷北部第四土地区画整理地内に整備したグラウンドゴルフパークにおいて公園管理協定を締結した。	継続	みどり公園課
実績値	64							
目標値	10					令和2年度に策定した「上尾市公園施設維持管理更新計画」の遂行にあたり、市民アンケートを実施した。	継続	みどり公園課
実績値	0							
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
大谷北部第二土地区画整理事業地内の街区公園1箇所の整備を行った。	継続	みどり公園課
市民ニーズにあった公園を整備するため、令和2年度に策定した「上尾市公園施設維持管理更新計画」において、市民アンケートを実施した。上記計画1番目に位置づけられた「あじさい公園」の改修にあたり、住民ニーズを把握するため、誘致距離圏内の住民アンケートを実施した。	継続	みどり公園課
グラウンドゴルフパークにおいて、良好な都市環境と健全な街づくりに資することを目的とし、公園管理協定を締結した。	継続	みどり公園課
今後の適切な公園維持管理のため、令和2年に策定した「上尾市公園施設維持管理更新計画」に反映するための市民アンケートを実施した。	継続	みどり公園課

## 【施策 10】農地の保全・活用

### 1. 基本情報

施策目標	作物の生産や良好な景観の形成、生物の生息・生育といった多面的な役割を担う農地を保全するため、市民農園の利用を促進するとともに、環境に配慮した自然農法を奨励します。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%		2030年度目標値 35%
環境目標	快適環境の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>市民農園の利用促進が高まっており、利用者数、新規開設数が増加している。また、景観を保つために地元住民による環境保全会への補助金の助成や、農業者への就農研修を促すなど、農地の多面的機能※を維持するための支援を実施できています。</p> <p>遊休農地面積については、目標値には届かなかったものの、農業委員会による農地パトロールや、利用意向調査を行うことで前年より遊休農地面積が減少しています。</p> <p>また、地産地消を促すため、学校給食における上尾市産米使用回数は維持できています。今後も地域農業の活性化のため、継続して実施します。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	市民農園利用者数	277	→ 人/年
B	新規市民農園開設数（累計）	-	↗ 箇所
C	農業従事者1人当たりの経営耕地面積	0.33	→ ha
D	全農地に占める遊休農地※面積の割合	18.1	→ %
E	学校給食における上尾市産米使用回数	3	→ 回/年
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	都市における農地を保全するため、市民農園の市民への利用促進を図ります。
②	都市における農地を保全するため、農地所有者への市民農園の開設について周知を行います。
③	環境負荷※の軽減に配慮した持続的な農業を進めるため、減農薬農法※や有機農法※などの指導や補助を行います。
④	農地の多面的機能を維持・発揮するため、農業者や地域住民が協働で行う農地の維持管理や田畑の景観形成などの活動を支援します。
⑤	地域農業を活性化させるため、直売施設の充実や「あげお朝市」に対する支援や地場産品の学校給食への活用など地産地消を促進します。
⑥	農業後継者を始め、農業外からの新規就農等、市の農業を担う意欲ある農業者の支援を促進します。
⑦	遊休農地や耕作放棄地※を解消するため、農地パトロールを実施し、利用権設定※の促進を図ります。
⑧	地産地消により、地域農業を活性化させるため、地場産品の学校給食への活用を推進します。
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	




	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	277					市民農園の運営管理を行った。 市民農園内の研修室でアグリサポーター研修会を実施した。	継続	農政課
実績値	280							
目標値	1					特定農地貸付法に基づいた市民農園開設相談と申請が3件あった。所有者が農地の管理協定を市と結び、農業委員会総会においてが許可された。	継続	農政課
実績値	3							
目標値	0.33					利用権の設定や農地中間管理事業などの活用によって農地の集積を実施した。	継続	農政課
実績値	0.44							
目標値	18					利用状況調査として8～10月に農業委員が行った農地パトロールの結果を踏まえ、利用意向調査を実施した。上尾市農業委員会では1月と8月の年2回農業委員会だよりを発行し、紙面にて農地パトロール※の周知と、農地の適正な管理を促した。	継続	農業委員会事務局
実績値	19							
目標値	3					彩の国ふるさと給食月間に合わせ、11月の収穫時期に上尾市産の新米を全校で3回使用した。	継続	学校保健課
実績値	3							
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
市民農園の利用申請を受付けた。延べ280件の利用申請があった。	継続	農政課
市の広報（農業委員会だより）で周知を行った。農地所有者による市民農園の開設について、特定農地貸付法に基づいた市民農園開設相談を受けた。所有者と市で農地の農用地の管理の協定を市と結び、農業委員会総会において3件が許可され、市民農園が開設された。	継続	農政課
特別栽培（米）に取り組む農業者に指導や補助をした。	継続	農政課
地元住民による環境保全会が実施する維持管理や景観形成等の活動に対し、補助金を交付することで財政的に支援した。	継続	農政課
あげお朝市と夕市を8回開催した。 あげお軽トラ市を6回開催した。 その他、アリオ上尾の秋の食フェスに出店して地元産野菜のPRを行った。	継続	農政課
市内外から意欲ある農業者の就農相談を受けた。1名が新規就農をはじめ、2名が就農研修を受けており、支援の促進ができた。	継続	農政課
利用権設定については、年2回の受付から随時受付へ切り替え、希望者について相談・申請しやすい体制とした。また利用権設定満了時に補助金を交付して利用権設定の促進を図った。利用状況調査として8～10月に農業委員、及び農地利用最適化推進委員が行った農地パトロールの結果を踏まえ、利用意向調査を実施し、遊休農地の地権者意向を確認した。上尾市農業委員会では1月と8月の年2回農業委員会だよりを発行し、紙面にて農地パトロールの周知と、農地の適正な管理を促した。農地の管理については地権者がおこなうため、強制力のない農業委員会単独で遊休農地や耕作放棄地の解消実現は難しいのが現状である。そのようななか、定期的な見回りや委員の指導により、目標数値には届かなかったものの、前年より遊休農地面積が減少した。	継続	農政課 農業委員会事務局
彩の国ふるさと給食月間に合わせ、11月の収穫時期に上尾市産の新米を全校で3回使用した。	継続	学校保健課

## 【施策 11】環境美化の推進

### 1. 基本情報

施策目標	ごみの散乱や不法投棄を防止するため、環境美化に対するモラルを向上し、美しいまちづくりを進めます。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%		2030年度目標値 35%
環境目標	快適環境の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>各地域では、クリーン上尾運動を実施しており、運動参加者一人当たりのごみ量は減ってきています。また、市の環境美化を促進するため、ポイ捨て防止のポスターや横断幕を活用した啓発を行っており、環境美化への意識を向上を図ることができています。</p> <p>河川などの不法投棄ごみについては、定期的なパトロールを実施しており、快適環境の整備に努めています。ごみ散乱防止ネットの配布を無償で行っており、目標値には届きませんでしたが、今後も周知に努めます。また、ごみの分別意識を向上させるため、ごみ収集カレンダーやアプリ等でごみの分別等を啓発します。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	クリーン上尾運動参加者一人当たりごみ回収量	0.9	↘ Kg
B	ごみ散乱防止ネットの配布件数	136	→ 件/年
C			
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況


No.	実行施策
①	ごみの適正処理とまちの環境を保全するため、道路・河川などの不法投棄ごみの撤去を行います。
②	路上へのたばこの吸殻の散乱を防止するため、「路上喫煙の防止に関する条例」に基づき、指定された区域内での路上喫煙※を禁止します。
③	まちの環境美化を推進し、快適な生活環境を保持するため、空き缶等のポイ捨てやペットの排泄物の放置を防止します。
④	市民・事業者・行政が一体となってまちの環境美化を促進するため、地域で行う清掃活動を支援します。
⑤	ごみの散乱を防止するため、ごみの分別方法や収集日、リサイクル品の回収日の周知、ごみ散乱防止ネットの設置を指導します。
⑥	資源物の持ち去り行為を防止するため、監視パトロールを強化します。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	0.8					ごみ散乱・ポイ捨て等の防止に関するポスターについて、市内小中学校を対象に募集を行い、その作品の中から啓発ポスターを作成し市内公共施設等に掲示を行った。広報や横断幕を活用し、ポイ捨て防止等の啓発を	継続	生活環境課
実績値	0.8							
目標値	136					出前講座※として大石地区環境美化推進員連合会研修会に参加し、ごみの捨て方等の説明の一つとしてごみ散乱防止ネットの無償配布について周知した。	継続	西貝塚環境センター
実績値	101							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
河川パトロール等を12回実施し、不法投棄を発見し次第撤去した。	継続	建設管理課
劣化した路上喫煙禁止区域の路面標示を貼り替え、禁止区域についてわかりやすく周知できた。	継続	生活環境課
ごみ散乱・ポイ捨て等の防止に関するポスターについてを啓発するため、市内小中学校生を対象にポスターの募集を行い、その作品の中から啓発ポスターを作成し市内公共施設等に掲示を行った。また、広報や横断幕を活用し、ポイ捨て防止等の啓発を行った。クリーン上尾運動を実施し、地域の環境美化を推進し、クリーン上尾運動参加者一人当たりごみ回収量は減少している。	継続	生活環境課
クリーン上尾運動を実施し、各地域での清掃活動やリサイクル※活動を通して環境意識の高揚を図った。また、各地区への補助金交付、自主的な活動にはごみ袋を提供するなど支援した。	継続	生活環境課
ごみ収集カレンダーやアプリ等でごみの分別等を啓発するとともに、ごみ散乱防止ネットを必要とする市民に無償で配布した。	継続	西貝塚環境センター
月1回程度、資源物持ち帰り防止パトロールを実施した。	継続	西貝塚環境センター

## 【施策 12】景観の保全・整備

### 1. 基本情報

施策目標	良好なまちの景観を形成するため、農地の保全や周囲と調和のとれた建物への誘導を図るとともに、景観を阻害するような違法看板などを撤去します。			
環境分野	都市・生活環境			
計画指標	都市・生活環境の住民満足度			
	2019年度実績値	29.9%		2030年度目標値 35%
環境目標	快適環境の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>良好なまちの景観を形成するため、地区住民が主体となる街づくり協議会の活動を支援し、新たに2件の地区計画を策定しました。また、建物の色彩や形状など周囲の環境と調和のとれたものにする必要があり、建築物の届出審査において協議・助言を行っています。</p> <p>無電柱化整備については、西宮下中妻線1工区の電線共同溝整備の一部区間に着手したており、景観形成だけでなく、防災機能の向上などにもつながるため、今後も計画的に進めていきます。</p> <p>景観を阻害する違反屋外広告看板や放置自転車などは減少傾向となっています。良好な景観形成のためにも、引き続き適正に対処するとともに、今後増加しないよう啓発の徹底に努めます。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	地区計画※策定数（累計）	26	↑ 件
B	無電柱化整備延長	0	↑ m
C	違反屋外広告物看板の撤去枚数	9,463	↑ 枚/年
D	撤去した自転車台数	850	↓ 台/年
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	良好なまちの景観を形成するため、一定規模を超える建築物や工作物の建築等が行われる際は、色彩や形状などを地域の環境と調和のとれたものとするよう指導します。
②	建築物等の色彩を周囲の環境と調和のとれたものにするため、街づくり推進条例を活用した住民主体のまちづくり活動の支援を通じて、地区計画を策定します。
③	駅周辺の中心市街地や防災上重要な都市計画道路については、防災機能の向上、通行空間の安全性、快適性の確保、良好な景観形成を図るため、無電柱化を推進します。
④	まちの景観維持のため、「埼玉県屋外広告物条例」に違反した景観を阻害するはり紙や捨て看板等の除去対策を進めます。
⑤	安全で快適に通行できる交通環境を目指して、歩道等の整備を推進します。
⑥	高齢者や障がい者、すべての人が利用しやすい道づくりのため、歩道等のバリアフリー化など、歩行空間におけるユニバーサルデザインを推進していきます。
⑦	残された田園風景を保持するため、水田や畑などが織りなす「農」の景観の保全に努めます。
⑧	歩行および自転車の利用しやすい環境づくりのため、放置自転車対策を進めます。
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	28					上尾市街づくり推進条例に基づき、地区住民が主体となる街づくり協議会の活動支援通して地区計画を策定した。(上尾富士見団地街づくり協議会、地頭方地区街づくり協議会)	継続	都市計画課
実績値	28							
目標値	0					西宮下中妻線1工区の電線共同溝整備の一部区間に着手した。	継続	道路河川課
実績値	0							
目標値	9,410					違反屋外広告物除却に係る業務委託を発注し、定期的に市内を巡回の上、違反屋外広告物の撤去を実施した。	継続	都市計画課
実績値	1,879							
目標値	230					放置禁止区域内に放置されている自転車に対して、警告札を貼り付け自転車の放置に対する意識づけを行うとともに、放置自転車の撤去作業を月4回行った。また、撤去自転車のうち、再利用可能な自転車については埼玉県自転車軽自動車商協同組合上尾支部に譲渡した。	継続	交通防犯課
実績値	177							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
埼玉県景観条例に基づき、届出審査において対象となる建築物（工作物）の色彩や形状などについて、周辺環境と調和のとれた良好な景観の形成に資する計画となるよう、協議・助言を実施した。（届出審査14件）	継続	都市計画課
地頭方地区及び富士見団地地区において、地区住民が主体となる街づくり協議会の活動を支援し、建築物等に関する適正な制限により住環境の向上等を図るため、地区計画を策定した。	10月 上尾道路沿道堤崎西部地区街づくり協議会の認定	都市計画課
西宮下中妻線1工区の電線共同溝整備の一部区間に着手した。	継続	道路河川課
違反屋外広告物除却に係る業務委託を発注し、定期的に市内を巡回の上、違反屋外広告物の撤去を実施した。	継続	都市計画課
通学路安全対策の検討において、歩道の新設整備の検討を行った。	継続	道路河川課
(都)上尾平方線の歩道リニューアル工事において、すべての人の利用に配慮した整備を行った。	継続	道路河川課
水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼きを実施し、適切な維持管理を行った。	継続	農政課
放置禁止区域内に放置されている自転車に対して、警告札を貼り付け自転車の放置に対する意識づけを行うとともに、放置自転車の撤去作業を月4回行った。また、撤去自転車のうち、再利用可能な自転車については埼玉県自転車軽自動車商協同組合上尾支部に譲渡した。	継続	交通防犯課

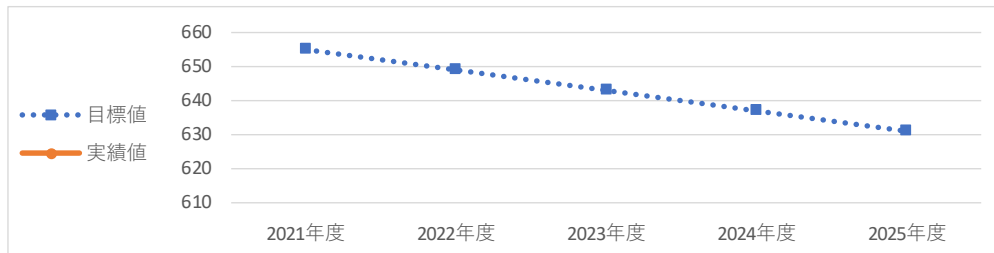


### 3. 資源循環分野

計画指標 (ゴール指標)		1人1日当たりのごみ排出量(家庭部門)					単位:g/人・日
2018年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
673	目標値	655	649	643	637	631	597
	実績値						

※ 一般廃棄物処理実態調査(環境省)の公表結果より、直近の実績値として2018年度の値を基準値としている。

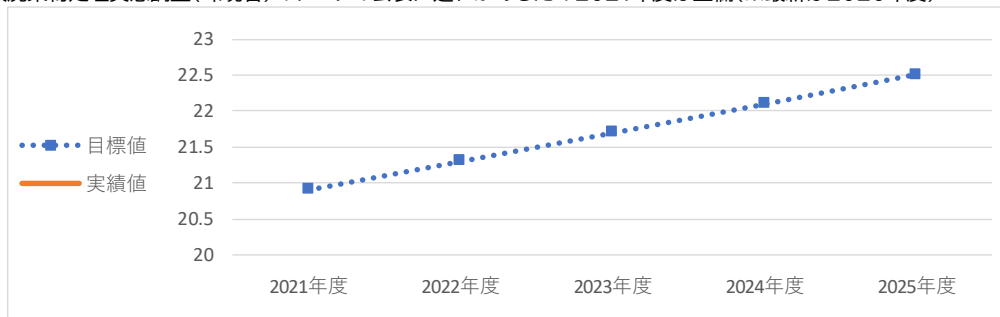
※ 一般廃棄物処理実態調査(環境省)のデータの公表に遅れがあるため2021年度は空欄(※最新は2020年度)



計画指標 (ゴール指標)		ごみのリサイクル率					単位:%
2018年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
19.7	目標値	20.9	21.3	21.7	22.1	22.5	24.7
	実績値						

※ 一般廃棄物処理実態調査(環境省)の公表結果より、直近の実績値として2018年度の値を基準値としている。

※ 一般廃棄物処理実態調査(環境省)のデータの公表に遅れがあるため2021年度は空欄(※最新は2020年度)



#### 【計画指標に対する評価】



循環型社会の形成に向けた取組の業務指標については、達成することができませんでした。一般廃棄物処理実態調査(環境省)において2021年度の実績値はまだ公表されておりませんが、今後、業務指標の目標値を精査するなど、取組に努めて参ります。ごみの発生抑制(Reduce※)については、出前講座などによる啓発や食品ロス※削減のためのフードドライブを実施することができています。また、再資源化※(Recycle)については、地域リサイクルの資源回収割合やリサイクル品の持ち込み数が減っているところですが、市民の再利用(Reuse※)の意識が高まっていることも要因の一つと考えています。

#### 【市民・事業所の活動方針】

- ・ 地域のリサイクル活動やフードドライブのイベントに参加する。参加した内容をSNS等を通じて、周囲に啓発する。
- ・ 不要になったものはすぐに捨てるのではなく、必要としている人に譲ったり、修理して使うなど再利用・再資源化に努める。

## 【施策13】ごみの発生抑制(REDUCE)の推進

### 1. 基本情報

施策目標	ごみの排出量を削減することは、市内から発生する温室効果ガス※を削減することにもつながります。ごみの発生抑制を推進するため、市民・事業者に対して啓発・指導を行います。			
環境分野	資源循環分野			
計画指標	1人1日当たりのごみ排出量（家庭部門）			
	2018年度実績値	673 g/人・日		2030年度目標値 597 g/人・日
計画指標	ごみのリサイクル率			
	2018年度実績値	19.7%		2030年度目標値 24.7%
環境目標	循環型社会の形成			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>ごみの排出抑制については、市民と事業者にて啓発や指導を行うことが重要です。出前講座においては、ごみの減らし方やリサイクルについて周知することができていますが、グリーン購入※など周知ができなかったものもあります。そのため、出前講座以外の周知方法を検討する必要があります。また、事業者に対しては、建設工事における廃棄物について、解体現場のパトロールを行い、確認・指導を実施しました。</p> <p>食品ロスの削減については、寄付先の福祉部門と共催でフードドライブを行っており、食品ロス削減に貢献しています。市内横断的な協力体制を構築している点が評価できます。しかし、廃棄物の最終処分割合は増加しており、社会活動や生活様式によっても変動する数値ではあるが、今後もごみ減量について周知・啓発を徹底します。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	ごみに関する出前講座受講者数（累計）	584	↗ 人
B	廃棄物の最終処分割合	8.4	↘ %
C			
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	家庭ごみの減量化と資源循環※のため、ごみの減らし方やリサイクルについて積極的な情報発信を実施します。
②	買い物時のごみの発生を抑制するため、事業者とともに過剰包装の辞退やマイバッグ※の持参などを市民に呼びかけます。
③	ごみの減量化や資源循環のため、家庭や事業所にグリーン購入を呼びかけます。
④	生ごみの減量化およびたい肥化※により資源の有効利用を図るため、家庭用生ごみ処理容器等の購入に対して補助します。
⑤	食品ロスを削減するため、フードドライブなどの活動を促進します。
⑥	建設工事における廃棄物の発生を抑制するため、建築物等に係る分別解体等および再資源化等を適正に実施するよう事業者へ指導します。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	



	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	1,214					中学校の依頼のもとに出前講座を行い、30人の生徒が受講した。	継続	環境政策課
実績値	614							
目標値	8.3					ホームページやごみ分別アプリ、ごみ収集カレンダー等により、ごみの分別方法等について啓発を行った。	継続	西貝塚環境センター
実績値	10.2							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
出前講座において、ごみの減らし方やリサイクルについて情報発信を行った。 啓発資料の「雑紙捨てないで」「くらしレシピ」をイベント等で配布した。	継続	環境政策課
出前講座において、過剰包装の辞退やマイバッグの持参などについて情報発信を行った。	継続	環境政策課
グリーン購入の案内はできなかったため、今後、周知・啓発方法を検討する。	継続	環境政策課
生ごみ処理容器等購入費補助金において、104件の補助を行った。	継続	環境政策課
埼玉県より「埼玉県下一斉フードドライブキャンペーンの実施について」の協力依頼があり、社会福祉協議会、子ども支援課、環境政策課共催で、フードドライブを実施した。	継続	環境政策課
6月と12月の計2回、解体現場へのパトロールを行った。解体現場では、廃棄物が適切に処理されていることを確認した。	継続	建築安全課

## 【施策14】ごみの再利用・再資源化(REUSE、RECYCLE)の推進

### 1. 基本情報

施策目標	市民・事業者の自主的な資源回収の取組を支援するとともに、市全体でごみの再利用・再資源化(Reuse、Recycle)を推進します。			
環境分野	資源循環分野			
計画指標	1人1日当たりのごみ排出量(家庭部門)			
	2018年度実績値	673 g/人・日	➡	2030年度目標値 597 g/人・日
計画指標	ごみのリサイクル率			
	2018年度実績値	19.7%	➡	2030年度目標値 24.7%
環境目標	循環型社会の形成			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>自主的な資源回収の取組を支援するため、リサイクル団体へ地域リサイクル事業報奨金による支援を行っており、地域のリサイクル事業を促進しています。実際の資源回収量やリサイクル品の持ち込み数の実績値は目標値は下回っていますが、ごみの排出抑制(Reduce)や再利用(Reuse)の意識の向上も考えられます。引き続き、ごみの分別の啓発に努めます。</p>
---

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	地域リサイクル活動による資源回収割合	8.35	↗ %
B	リサイクル品の持ち込み数	36	→ 点
C			
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	生ごみの減量化およびたい肥化により資源の有効利用を図るため、家庭用生ごみ処理容器等の購入に対して補助します。【施策(13)と同じ】
②	地域における資源ごみのリサイクルを促進するため、地域リサイクルの活動内容や事例紹介など情報発信を行います。
③	地域における資源ごみのリサイクルを促進するため、地域でリサイクル活動を行う団体に対して支援を行います。
④	使用済み小型電子機器等の適正な処理と資源循環のため、公共施設に回収ボックスを設置して小型家電リサイクル※を推進します。
⑤	収集した粗大ごみからのピックアップ、リユースを前提とした収集、リユース品の住民の持ち込みなどによるリユース活動を促進します。
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	8.4					地域リサイクル事業報奨金と地域リサイクル事業収集運搬業務を引き続き実施し、地域リサイクル活動の継続に努めた。	継続	環境政策課
実績値	7.8							
目標値	40					不要になった家具などで、まだ使用できるものを環境センター内のリサイクル品展示室に保管し、希望する市民にリサイクル品として無料で提供している。	継続	西貝塚環境センター
実績値	12							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
生ごみ処理容器等購入費補助金において、104件の補助を行った。	継続	環境政策課
ホームページで地域リサイクル事業について、情報発信を行った。	継続	環境政策課
地域リサイクル事業報奨金をにおいて、前期は122団体、後期は124団体に支援を行った。	継続	環境政策課
市内9か所の公共施設の回収ボックスなどを通して、小型家電の回収とリサイクルを推進している。また、ごみ集積所に出す場合は「金属・陶器」とは別に透明な袋に入れて出すよう、ごみ収集カレンダー等で啓発している。	継続	西貝塚環境センター
不要になった家具などで、まだ使用できるものを環境センター内のリサイクル品展示室に保管し、希望する市民にリサイクル品として無料で提供している。	継続	西貝塚環境センター

## 【コラム】フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことです。

上尾市では、令和3年6月17日(木)～22日(火)・令和3年10月20日(水)～令和3年10月23日(土)に社会福祉法人上尾市社会福祉協議会を中心に、上尾市子ども支援課・環境政策課が共催でフードドライブを実施しました。両期間併せて160人から寄附があり、1,675個の食品等が集まりました。



日本における、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の量はどのくらいあるのでしょうか。環境省の令和2年度のデータによると、年間約522万トンの食品ロスが発生したと推計されています。家庭での食品ロスの主な原因としては、直接廃棄、食べ残し、過剰除去が挙げられます。

### 直接廃棄



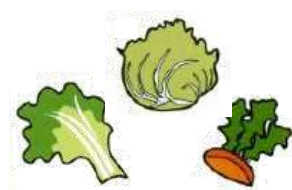
使わずに廃棄  
(賞味期限切れなど)

### 食べ残し



食べ残し

### 過剰除去



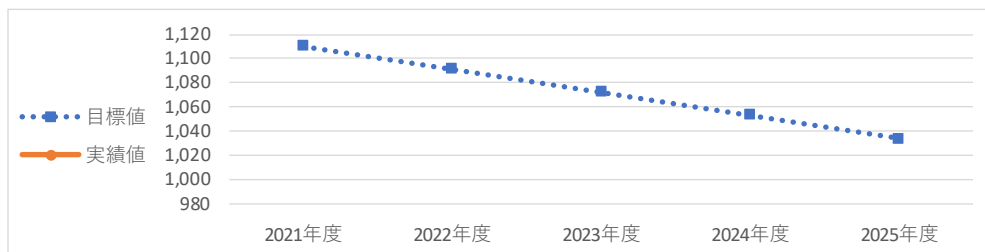
調理しないで捨てた部分  
(皮のむきすぎなど)

#### 4. 省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化対策分野

計画指標 (ゴール指標)		市内のCO2排出量					単位:千t-CO2
2013年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
1,262	目標値	1,110	1,091	1,072	1,053	1,034	933
	実績値						

※「パリ協定」における基準年に合わせ2013年度の値を基準値としている。

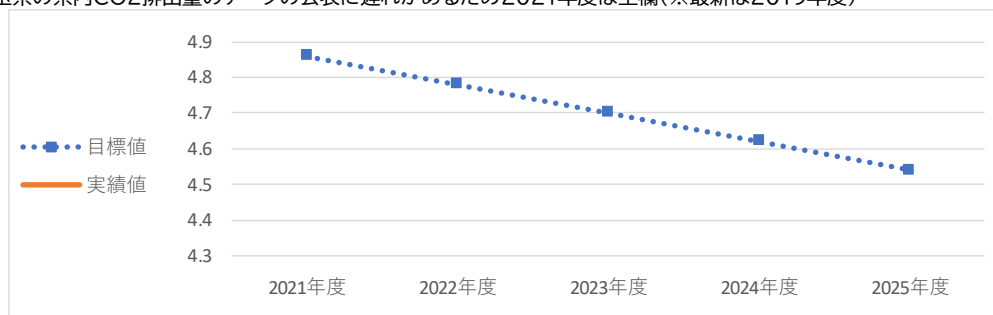
※ 埼玉県の県内CO2排出量のデータの公表に遅れがあるため2021年度は空欄(※最新は2019年度)



計画指標 (ゴール指標)		人口1人当たりのCO2排出量					単位:t-CO2
2013年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
5.5	目標値	4.86	4.78	4.7	4.62	4.54	4.2
	実績値						

※「パリ協定」における基準年に合わせ2013年度の値を基準値としている。

※ 埼玉県の県内CO2排出量のデータの公表に遅れがあるため2021年度は空欄(※最新は2019年度)



#### 【計画指標に対する評価】

CO2排出量のデータは2019年度が最新であるため、今後効果がわかりますが、CO2削減に向けて各取組を行っております。省エネ対策推進奨励金※の支給については、令和3年度は次世代自動車※の件数が増えています。世帯当たりの太陽光発電設置割合も増えており、CO2削減に貢献したことが伺えます。また、事業所支援については、令和4年度のエコアクション21の取得推進に向けて、準備を行ったところです。

また、市では、市の事務事業から排出される温室効果ガス削減に取り組むため「第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を令和4年度に策定予定で、各課に周知・共有し、エネルギー使用量の削減を呼びかけました。

#### 【市民・事業所の活動指針】

- ・電化製品の買い替えやリフォームの際には、省エネ製品などの環境に配慮した製品を選ぶ。
- ・事業所については、省エネ診断※をするなど、事業から排出されるCO2抑制に取り組む。

## 【施策15】省エネルギー・再生可能エネルギーの推進①

### 1. 基本情報

施策目標	CO2排出量の削減に向けて、日常的な省エネルギー活動を継続させつつ、家庭や事業所における省エネ診断、エコチューニング※等の活用を促進するなど、地域全体で省エネルギー活動を実践していきます。市役所も一事業者として、「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、CO2排出量の削減に向けた取組を実施します。 また、再生可能エネルギー※等を積極的に活用していくことで、地球温暖化※の防止と災害への備えを両立していきます。			
環境分野	省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化対策分野			
計画指標	市内のCO2排出量			
	2013年度実績値	1,262千t-CO2	➡	2030年度目標値
計画指標	人口1人当たりのCO2排出量			
	2013年度実績値	5.5 t-CO2	➡	2030年度目標値
環境目標	低炭素社会※の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>省エネ設備の設置を推進するため、市では省エネ対策推進奨励金を支給しています。同じ予算内で省エネ設備、次世代自動車、その他省エネ対策の補助を行っているため、支給件数には偏りが出ていますが、令和3年度は次世代自動車の支給が多いという結果となりました。移動手段におけるCO2削減につながっており、今後も奨励金補助による普及拡大に努めます。省エネ設備設置割合等も目標値を達成しているため、CO2削減に貢献していることが伺えます。</p> <p>事業所に対しては令和4年度にエコアクション2.1の取得推進を実施予定であり、環境経営システムの構築に向けて事業所に働きかけていきます。また、学校の緑の維持管理については、継続的な樹木の剪定を実施できたが、グリーンカーテン※の設置を見送ったため、次年度以降設置できるよう検討します。</p> <p>(②に続く。)</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性単位
A	世帯当たりの太陽光発電設置割合	4.7	↗ %
B	太陽熱を利用した温水機器等がある住宅の割合	2.8	↗ %
C	太陽光を利用した発電機器がある住宅の割合	4.3	↗ %
D	省エネに関する出前講座受講者数	0	↗ 人/年
E	省エネ対策推進奨励金申請件数（省エネ設備）	169	→ 件/年
F	省エネ対策推進奨励金申請件数（次世代自動車）	12	→ 件/年

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	家庭におけるエネルギー使用の無駄を省き、CO2削減を図るため、家庭でできる省エネルギー活動を積極的にPRします。
②	家庭におけるエネルギー使用量の削減を図るため、市民に向けて太陽光・太陽熱・エネファーム（家庭用燃料電池）※等の情報提供を行い、設備更新を促します。
③	家庭におけるエネルギー使用量の削減を図るため、市民に向けてホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS※）等の情報提供を行い、設置を促します。
④	建物の遮熱を図り、冷房の使用を抑えるため、家庭にグリーンカーテンを普及・促進します。
⑤	事業所におけるエネルギー使用の無駄を省き、CO2削減・コスト削減を図るため、省エネ診断やエコチューニング等の取組を積極的にPRします。
⑥	事業所におけるエネルギー使用量の削減を図るため、事業者に向けて太陽光・太陽熱・コージェネレーション※設備（熱電併給システム）等の情報提供を行い、設備更新を促します。
⑦	「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を推進し、市の公共施設および事務事業の実施により排出される温室効果ガスの削減を図ります。
⑧	CO2が排出されないクリーンエネルギー※の利用を促進するため、太陽光発電や地中熱※ヒートポンプなど再生可能エネルギーの活用に関する情報提供を行います。
⑨	学校の緑を維持する為、敷地内の樹木を適切に管理します。
⑩	建物の遮熱を図り、冷房の使用を抑えるため、学校にグリーンカーテンを普及・促進します。
⑪	CO2削減効果の高い電気自動車を普及させるため、電気自動車の購入に対する補助と充電設備の利用を促進します。
⑫	自動車からのCO2やその他の排出ガスを抑制するため、市内循環バスを中心とする公共交通機関の充実や利便性の向上を図り、市民や事業者が公共交通機関利用の実践を促します。 【施策5と同じ】

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	5.1					太陽光発電普及促進のため、太陽光発電システム※が対象となっている省エネ対策推進奨励金について、広報誌やホームページ、SNSでの情報発信をした。	継続	環境政策課
実績値	5.1							
目標値	2.9					太陽熱温水機器普及促進のため、省エネ対策推進奨励金について広報誌やホームページ、SNSでの情報発信や意識啓発を実施した。	継続	環境政策課
実績値	2.9							
目標値	4.9					太陽光発電設備の普及の更なる促進のため、省エネ対策推進奨励金について広報誌やホームページ、SNSでの情報発信や意識啓発を実施した。	継続	環境政策課
実績値	4.9							
目標値	10					中学校の依頼のもとに出前講座を行い、30人の生徒が受講された。	継続	環境政策課
実績値	30							
目標値	174					再生可能エネルギー利用である太陽光発電システムについて、省エネ対策推進奨励金として市ホームページや広報誌で周知し、普及促進に努める。	継続	環境政策課
実績値	151							
目標値	16					次世自動車の特徴について、上尾市Webサイトで情報発信をした。	継続	環境政策課
実績値	20							

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
出前講座において、家庭でできる省エネルギー活動を案内した。啓発資料の「くらしレシビ」をイベント等で配布した。	継続	環境政策課
太陽光・太陽熱・エネファーム（家庭用燃料電池）等の補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。	継続	環境政策課
ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）等の補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。	継続	環境政策課
グリーンカーテンの補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。	継続	環境政策課
事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション21取得の推進方法等について検討した。	7月 エコアクション21取得説明会開催	環境政策課
事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション21取得の推進方法等について検討した。	7月 エコアクション21取得説明会開催	環境政策課
R4年度の「第3次上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」策定に向けて各課に周知・共有し、エネルギー使用量の削減を呼びかけた。	継続	環境政策課
省エネ対策推進奨励金のホームページやパンフレットにおいて、太陽光発電システムの補助を行っていることを周知した。	継続	環境政策課
腐食した枝の剪定等を行い、樹木を維持するための措置を実施した。近隣等に支障が出る箇所について枝の剪定等を実施し、継続して樹木を維持できるようにした。	継続	教育総務課
「コロナ禍の臨時財政運営方針」に基づき、令和3年度のグリーンカーテンの設置は見送ったが、次年度以降の設置校を検討した。	7月 大谷小学校にグリーンカーテン設置	環境政策課 教育総務課
電気自動車等の補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。	継続	環境政策課
運行時刻、ルート情報、バスロケーションシステムについて、HPおよび各種時刻表、マップに記載し、市役所、支所・出張所にて配布。転入者に対して公共交通マップを配布。運転免許証自主返納者に、ぐるっとくんの乗車回数券、時刻表、総合交通案内、ぐるっとくんROADマップを配布した。配布枚数の概数は、ぐるっとくんROADマップ4,000部、公共交通マップ2,000部、時刻表約16,200部、総合交通案内1400部。	継続	交通防犯課

## 【施策15】省エネルギー・再生可能エネルギーの推進②

### 1. 基本情報

施策目標	CO2排出量の削減に向けて、日常的な省エネルギー活動を継続させつつ、家庭や事業所における省エネ診断、エコチューニング等の活用を促進するなど、地域全体で省エネルギー活動を実践していきます。市役所も一事業者として、「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、CO2排出量の削減に向けた取組を実施します。 また、再生可能エネルギー等を積極的に活用していくことで、地球温暖化の防止と災害への備えを両立していきます。			
環境分野	省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化対策分野			
計画指標	市内のCO2排出量			
	2013年度実績値	1,262千t-CO2	➡	2030年度目標値 933千t-CO2
計画指標	人口1人当たりのCO2排出量			
	2013年度実績値	5.5 t-CO2	➡	2030年度目標値 4.2 t-CO2
環境目標	低炭素社会の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>(①からの続き)</p> <p>市では、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、各所属で職場計画書を作成し、職場内でのCO2削減に取り組んでいますが、市の公共施設および事務事業からの温室効果ガスの削減率及び温室効果ガス排出量はともに目標値を達成しています。令和4年度より、上記計画が改定されるため、更なるCO2削減に努めてまいります。</p> <p>自転車レーンの整備延長については、一部遅れが生じ目標値を達成できませんでした。自転車利用の普及施策については、新たな生活様式等の社会の需要を踏まえながら検討を進める。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
G	省エネ対策推進奨励金申請件数（その他省エネ対策）	45	→ 件/年
H	市の公共施設および事務事業からの温室効果ガスの削減率	9.1	↗ %
I	市の公共施設および事務事業からの温室効果ガス排出量	16,786	↘ t-CO2
J	ぐるっとくんの年間利用者数（再掲）	480,306	↗ 人/年
K	自転車レーン※の整備延長	5.6	↗ Km
L			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
⑬	市民の自転車利用を促進するため、事業者との協働による計画的・効果的な駐輪場の整備手法を研究します。
⑭	自動車からのCO <sub>2</sub> やその他の排出ガスを抑制するため、市民や事業者エコドライブやアイドリングストップの実践を促します。
⑮	自転車が安全に走ることができる環境整備のため、「上尾市都市計画マスタープラン2020」に掲げる、自転車レーン整備優先エリアの整備を進めます。
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	
㉑	
㉒	
㉓	
㉔	



	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	53					市ホームページや広報誌、SNS等で情報発信を行い、特にグリーンカーテンの手軽さや安価で始められる特徴やその効果について、広く周知した。	継続	環境政策課
実績値	48							
目標値	10.4					「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」について、周知し、各所属において職場計画書を作成してもらい、エネルギー使用量の削減に努めた。	継続	環境政策課
実績値	11.2							
目標値	16,543					「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」について、周知し、各所属において職場計画書を作成してもらい、エネルギー使用量の削減に努めた。	継続	環境政策課
実績値	16,400							
目標値	368,400					運航時刻、ルート情報、バスロケーションシステムについて、HPおよび各種時刻表、マップに転載し、市役所、支所・出張所にて配布。転入者に対して公共交通マップを配布。運転免許証自主返納者に、ぐるっとくんの乗車回数券、時刻表、総合交通案内、ぐるっとくんのROADマップを配布した。配布枚数の概数は、ぐるっとくんROADマップ4,000部、公共交通マップ2,000部、時刻表約16,200部、総合交通案内1400部。	継続	交通防犯課
実績値	382,168							
目標値	6.8					西宮下中妻線において、区画線工に先立ち交差点部の切削工事を行った。	継続	道路河川課
実績値	0.65							
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式等が世間に浸透したことに伴い、駐輪場需要が低下したため、具体的な検討には至っていない。	6月 サイクルポート南にキャッシュレス支払を導入	交通防犯課
開発行為等に伴い、20台以上収容可能又は面積500㎡以上の駐車場を新たに設置する者に対して、アイドリングストップの看板設置等により周知するよう指導した。（26件）	継続	生活環境課
西宮下中妻線において、区画線工に先立ち交差点部の切削工事を行った。	継続	道路河川課

## 【施策16】地球温暖化への適応策の推進

### 1. 基本情報

施策目標	これまでの温室効果ガスの発生抑制のための「緩和策※」の一層の推進に加えて、地球温暖化による影響に対する「適応策※」を講じていく必要があります。なかでも、本市での被害が懸念される地球温暖化による影響として、「熱中症」「ゲリラ豪雨※等による浸水被害」などへの備えを推進していきます			
環境分野	省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化対策分野			
計画指標	市内のCO2排出量			
	2013年度実績値	1,262千t-CO2	➡	2030年度目標値 933千t-CO2
計画指標	人口1人当たりのCO2排出量			
	2013年度実績値	5.5 t-CO2	➡	2030年度目標値 4.2 t-CO2
環境目標	低炭素社会の構築			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>ゲリラ豪雨や台風など浸水被害を防ぐためにも、雨水貯留タンク※の設置は重要です。設置補助件数の目標値は届きませんでしたが、啓発場所、回数を増やすなど積極的に取り組むことができています。また、気温上昇による降水量の増加が見込まれていることから、市民の防災意識向上のため、マイタイムラインの研修を行い、受講者数の目標値を達成することができています。</p> <p>熱中症対策については、市内の緑化活動の推進や、クールシェア※方法の周知を実施しました。防災も含めて適応策については、地球温暖化対策の新たな考え方であり、今後も周知・啓発を徹底していきます。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	雨水貯留タンク設置補助件数	28	→ 件/年
B	イツモ防災講座（マイタイムライン※を含む）受講者数	2,412	→ 人/年
C			
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	ヒートアイランド現象を緩和するため、グリーンカーテンの設置をはじめ、緑化を指導し、まちなかの緑を増やします。
②	熱中症予防に向け、市民や事業者に打ち水※などの暑さへの対策を広く呼びかけます。
③	ゲリラ豪雨による浸水被害を軽減するため、市民や事業者に雨水浸透ます※や雨水貯留タンクの設置を呼びかけるとともに、雨水貯留槽※の設置や透水性舗装※の整備などによる雨水流出抑制を指導します。
④	ゲリラ豪雨による浸水被害に備えるため、浸水が予想されるエリアや避難場所の周知、市民の防災意識の向上を促進します。
⑤	上尾市防災士協議会と連携し、マイタイムライン等普段の備えを具体的に分かりやすく伝えていくことで、防災行動の普及啓発に努めます。
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	28					11月26、27日にアリオ上尾店で開催された消費生活展に出展した。広報に毎年6月号に掲載しているが、12月号にも掲載した。	継続	建設管理課
実績値	27							
目標値	500					①防災士の育成（12名）②イツモ防災講座の開催：上尾市役所職員研修（27名）、マイタイムラインワークショップ【南中学校】（445名）、マイタイムラインワークショップ【大石南小学校】（53名）	継続	危機管理防災課
実績値	525							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
戸崎公園、自然学習館でグリーンカーテンを実施した。緑の募金緑化事業交付金を活用し、大石中学校横のプランターに草花を植栽し、まちなかの緑を増やした。 省エネ対策推進奨励金において、グリーンカーテン設置に対して10件支給した。	継続	みどり公園課 環境政策課
環境啓発資料である「くらしレシピ」において、クールシェア方法の周知を行った。	継続	環境政策課
11月26、27日にアリオ上尾店で開催された消費生活展に出展し、広報については毎年6月号に掲載しているが12月号にも掲載し、雨水タンク設置の呼びかけを行った。	継続	建設管理課
上尾市役所職員研修（27名）、マイタイムラインワークショップ【南中学校】（445名）、【大石南小学校】（53名）を実施し、市民の防災意識の向上を促進した。	継続	危機管理防災課
上尾市役所職員研修（27名）、マイタイムラインワークショップ【南中学校】（445名）、【大石南小学校】（53名）を実施し、市民の防災意識の向上を促進した。	継続	危機管理防災課

## 【コラム】ゼロカーボンシティ宣言

令和3年7月17日、「上尾市環境推進大会2021」において、畠山市長が「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、公益社団法人埼玉中央青年会議所と「ゼロカーボンシティ共同推進宣言」を締結しました。2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指して、市民、事業者、行政で手を取り合い、それぞれの特性を活かしながら、スピード感を持って、様々な取組を進めてまいります。



ゼロカーボンシティ宣言時の様子  
(上尾市環境推進大会2021)

## 【コラム】気候変動適応策



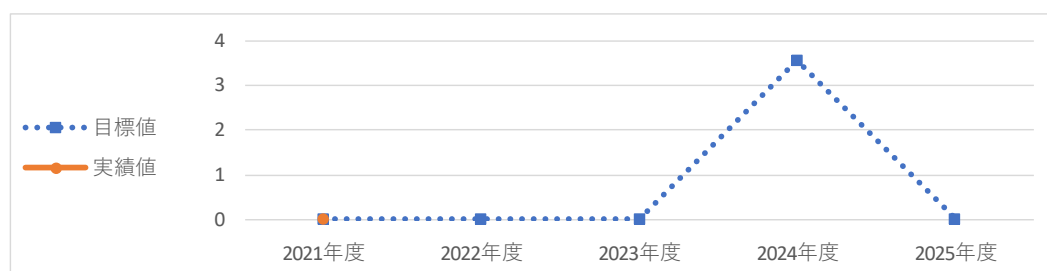
出典：気候変動適応情報プラットフォーム

温室効果ガスを減らす省エネ施策を「緩和策」と言い、気温上昇によるリスクに備える施策を「適応策」といいます。気候変動対策には、この2つの施策を並行して行う必要があります。防災、熱中症対策など、関連した所属がすでに行っている施策が適応策であるため、関連所属と連携して適応策を推進してまいります。

## 5. 環境づくり分野

計画指標 (ゴール指標)		「環境活動に参加したい」と思う人の割合					単位:%
2019年度 実績値		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2030年度 目標値
2.3	目標値	-	-	-	3.55	-	5
	実績値	-					

※環境基本計画策定(改定)時の市民アンケートに基づくため、2021年度は空欄(次回は2024年度)



### 【計画指標に対する評価】

環境活動に参加したいと思う人の割合を調査する市民アンケートについては、環境基本計画策定(改定)時の2024年度を予定しているため、2024年度の目標値達成に向けて、出前講座、公民館講座を開催し、積極的に環境学習の場を提供しました。あげお環境賞の紹介や中学校などへ環境パネル展示を行い、事業所の活動事例を紹介をすることができました。また、環境活動を行う人材確保のため、環境イベントの周知を積極的に行いました。

### 【市民・事業所の活動指針】

- ・興味がある環境啓発イベントに参加する。参加したイベント内容をSNSなどを利用し、周囲に啓発する。

## 【施策 17】環境教育・環境学習の推進

### 1. 基本情報

施策目標	子どもから大人まで全ての世代の環境意識の向上を目指し、環境について学ぶ機会を増やします。そのために、学校や地域などでの環境教育の推進を支援するとともに、次世代の環境活動をけん引する新たな人材の確保と育成を図ります。			
環境分野	環境づくり分野			
計画指標	「環境活動に参加したい」と思う人の割合			
	2019年度実績値	2.3%	➡	2030年度目標値 5%
環境目標	環境活動の活発化			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、環境推進協議会の学習会の受講者数は目標値に達成しなかったが、温暖化対策実施校数（出前講座）及び環境学習講座参加者数（公民館講座）の目標値は達成しています。市民への環境学習の機会を増やすため、今後も継続的に開催してまいります。また、市内小中学校での環境パネルの展示については、アンケートを行い、中学生の環境意識について調査することができました。</p> <p>将来にわたる環境活動を継続するため、地域の環境美化活動をけん引する環境美化推進委員を選出しました。その他、環境活動を担う人材確保のため、多くのイベントに参加してもらうよう啓発・周知を行っていきます。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性単位
A	環境推進協議会学習会参加者数	52	人/年 ↗
B	市内小中学校での環境パネルの展示回数	1	回/年 ↗
C	温暖化対策講座実施校数	2	校/年 ↗
D	環境学習講座参加者数	0	人/年 ↗
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	環境への理解を深めるため、環境教育に必要な資料やパンフレット等を充実させます。
②	地域における環境学習の機会を増やすため、環境推進協議会において市民向けの環境に関する学習会を開催します。
③	環境教育の機会を増やすため、子どもから大人まで参加できる環境イベントの定期開催や市民団体・事業者・学校・地域が実施する環境への取組を支援します。
④	市民が自然とふれあう機会を増やすため、自然観察会などの体験型環境学習を充実させます。【施策 2 と同じ】
⑤	将来にわたって環境活動を継続するため、次世代の環境活動をけん引するリーダーやボランティアなど新たな人材の確保と育成を図ります。
⑥	子どもの時からの環境教育の機会を増やすため、学校における温暖化対策講座等の実施を進めます。
⑦	地域における環境学習の機会を増やすため、公民館において市民向けの環境に関する講座を開催します。
⑧	市民が自然とふれあう機会を増やすため、市民団体や事業者と協働し、学習・体験教室などの体験型環境学習を充実させます。【施策 2 と同じ】
⑨	市民が農とふれあう機会を増やすため、農業体験などの体験型学習を充実させます。【施策 2 と同じ】
⑩	
⑪	
⑫	

	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	60					令和3年10月下旬に第1回学習会「生物多様性と外来種問題～私たちにできる対策～」を開催した。予定では第2回学習会「地球温暖化～影響と対策～」を令和4年2月上旬に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み中止とした。	継続	環境政策課
実績値	20							
目標値	2					令和3年9月から10月上旬にかけて、原市中学校及び西中学校において環境パネル展示を実施し、市内の環境保全団体の活動や地球温暖化、食品ロスなどの環境問題についてPRした。また、各1クラスアンケートを実施し、中学生の意識を調査することができた。	継続	環境政策課
実績値	2							
目標値	2					環境政策課の作成する「あげお市政出前講座」のチラシを学校に案内した。	継続	指導課
実績値	2							
目標値	10					原市公民館講座「環境講座～SDGsって何?～」を開催し、持続可能な開発目標（SDGs）のターゲットや、海洋プラスチック問題、地域独自の指標策定（ローカルインディケーター）等について、講義を行った（21名）。	継続	生涯学習課
実績値	21							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
環境啓発資料である「くらしレシビ」を充実させた。また、イオンモール上尾に新たに設置した。	新資料の作成	環境政策課
令和3年10月に、市民の生物多様性への理解を深めるため、生物多様性に関する学習会を開催した。	継続	環境政策課
令和3年10月に生物多様性に関する学習会を開催したほか、11月に環境に特化したSDGsの学習会、12月にサクラソウトラスト地の管理作業と自然観察会を開催した。また、小中学校に、出前講座や地球温暖化に関する講座の案内を送付し、環境学習の機会を設けた。	継続	環境政策課
令和3年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、HP以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。	継続	環境政策課
市の環境イベントの案内を希望する方に対して、継続的に環境イベントの開催案内を送付し、多くのイベントに参加してもらうことで、環境活動を担う次世代のリーダーの育成を図った。地域の方の協力を得ながら環境美化の推進に努めてもらうよう、地域住民のリーダーとして環境美化推進員を選出してもらい、委嘱した。各推進員に業務の手引きを配付し、地域での環境美化活動の役割・方法について周知した。	継続	環境政策課 生活環境課
環境政策課の実施する小・中学校向けの地球環境に関する講座を広く紹介した。	継続	指導課
原市公民館において、「環境講座～SDGsって何?～」を実施した（21人）。SDGsについて理解を深めるきっかけとなり、環境問題への意識向上へとつながった。	継続	生涯学習課
上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	継続	環境政策課
農業体験教室（さつまいも、田植え、大根、じゃがいも）の植付け、収穫を実施した。田植え教室では水田に生息する生き物の調査も同時に行った。	継続	農政課

## 【施策 18】協働による環境活動の推進

### 1. 基本情報

施策目標	<p>将来の上尾市、将来の地球の環境を守るためには、先人から受け継いできた誇るべき上尾市の環境を守り、育て、次世代へと継承していく必要があります。</p> <p>そのため、市民・事業者・行政がそれぞれ担う役割を認識し、その役割を果たしつつ、協働体制をより強固なものとする事で、十分な効果を発揮できるよう協働による環境活動の底上げを図っていきます。</p>			
環境分野	環境づくり分野			
計画指標	「環境活動に参加したい」と思う人の割合			
	2019年度実績値	2.3%	➡	2030年度目標値 5%
環境目標	環境活動の活発化			

### 2. 環境目標に対する評価

<p>環境の保全と創造に関する意識の醸成および行動の促進を図るため、他の模範となる優れた取組をあげお環境賞として表彰していますが、令和3年度は2件の受賞があり、その旨を紹介しています。その他、環境推進協議会におけるイベントを通じて、環境保全活動の必要性を啓発しました。また、事業所の活動事例を紹介するため、中学校や上尾駅において環境パネル展示を行い、周知・啓発を実施しています。</p> <p>クリーン上尾運動参加人数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の地域で中止となったため、目標値に届くことができませんでした。まちの環境美化を推進するため、今後も環境美化の広報誌で実施内容等を啓発し、継続的な働きかけを実施していきたい。</p>
--

### 3. 関連するSDGsの項目



### 4. 業務指標の取組状況

No.	業務指標	基準年度実績値	方向性 単位
A	あげお環境賞受賞団体の紹介件数	2	→ 件/年
B	クリーン上尾運動参加人数	18,762	→ 人/年
C			
D			
E			
F			

### 5. 実行施策の取組状況

No.	実行施策
①	将来にわたって自然が豊かな美しいまちを守るため、市民一人ひとりが日常的な習慣として環境保全行動に取り組めるように、広報やイベントを通じて啓発します。
②	市民がふれあえる自然を守るため、市民団体や事業者が行う自然環境の保全活動を支援します。【施策2と同じ】
③	NPO や民間事業者等が市民、行政と協働して行う環境活動に関する情報を収集するとともに、取組拡大に向けて広く周知啓発を行います。
④	環境活動の更なる拡大を図るため、環境保全活動を行うグループ間の交流を促進します。
⑤	市民・事業者・行政が一体となってまちの環境美化を促進するため、地域で行う清掃活動を支援します。【施策11と同じ】
⑥	農地の多面的機能を維持・発揮するため、農業者や地域住民が協働で行う農地の維持管理や田畑の景観形成などの活動を支援します【施策10と同じ】。
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	



	R3	R4	R5	R6	R7	取組状況等	翌年度の方向性	担当課
目標値	2					上尾市環境推進大会2021において、あげお環境賞の授賞式を執り行うとともに、受賞者による活動報告（昨年度の団体も合わせて4団体）を行った。また、推進大会後に、ホームページにおいて、あげお環境賞の受賞者の紹介を行った。	継続	環境政策課
実績値	2							
目標値	19,000					各自治会等へ新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じての実施について協力を依頼した。環境美化の広報誌により、実施内容等を掲載し啓発を実施した。	継続	生活環境課
実績値	12,900							
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								
目標値								
実績値								

取組状況等	翌年度の方向性	担当課
環境推進大会、環境学習会、環境パネル展示、サクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会などのイベントを通して、環境保全活動の必要性を啓発した。	継続	環境政策課
上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。	継続	環境政策課
事業者の活動事例として、中学校環境パネル展示及び上尾駅自由通路の環境パネル展示において、市内事業者団体「上尾ものづくり協同組合」の活動のパネルを紹介した。	継続	環境政策課
令和3年11月に、上尾駅自由通路で環境パネル展示を開催し、市民への周知とともに、団体相互に活動を知る機会を設けた。上尾丸山公園の自然再生に関する意見を集約する目的で、専門家会合を年3回開催し、市内の自然保護団体に専門家として参加いただいた。環境保全会のための県研修会があるが、新型コロナウイルスの影響で開催されていない。	継続	環境政策課 みどり公園課 農政課
クリーン上尾運動を実施し、各地域での清掃活動やリサイクル活動を通して環境意識の高揚を図った。また、各地区への補助金交付、自主的な活動にはごみ袋を提供するなど支援した。	継続	生活環境課
地元住民による環境保全会が実施する維持管理や景観形成等の活動に対し、補助金を交付することで財政的に支援した。	継続	農政課

## 【コラム】環境推進協議会事業

環境推進協議会では、環境イベントや学習会を開催しているほか、あげお環境賞の贈呈などの活動や市民・事業者への環境情報の提供を行っています。

### 令和3年度実績

時期	イベント名	内容
4月	環境保全活動	サクラソウトラスト地内の雑草刈りや雑木整理
6月	環境推進大会 2021	あげお環境賞授賞式、受賞団体による活動発表。 ゼロカーボンシティ宣言
9月	中学校環境パネル展	環境活動を紹介するパネル展示 場所：原市中学校、西中学校
10月	第1回環境学習会	生物多様性と外来種問題～私たちにもできる対策～ 場所：上尾公民館 501 講座室
	環境保全活動	サクラソウトラスト地内の雑草刈りや雑木整理
11月	環境パネル展	環境活動を紹介するパネル展示 場所：JR 上尾駅自由通路
12月	サクラソウトラスト地の 管理作業と自然観察会	刈られたヨシを運び出す作業と現場周辺の野鳥や昆虫、植物などの観察
1月	鴨川の冬鳥観察会	※新型コロナウイルスの感染拡大により中止
2月	第2回環境学習会	※新型コロナウイルスの感染拡大により中止

## 【コラム】第21回あげお環境賞

第21回あげお環境賞では、大石北小学校環境委員会が受賞し、令和4年度上尾市環境推進大会において活動発表を行いました。

受賞団体	主な活動内容
大石北小学校環境委員会	親父の会などの協働によるビオトープの維持管理活動や独自の生物多様性などの学習

## 6. 業務指標の進捗管理

### 計画進捗度

**61%** (業務指標進捗度 ○ : 40 - : 9 × : 17)

※令和3年度において、年度実績値が年度目標値を達成した業務指標の割合

### 評価

低調 維持 **概ね順調** 順調

### 評論

計画指標の目標値の達成に向けて、業務指標の全体的な進捗は概ね順調に進んでいます。ただし、業務指標ごとに目を向けると、「循環型社会形成」については、目標値を達成できたものはありませんでした。望ましい環境像「低炭素かつ資源循環型社会の形成に市民・事業者・行政一体で取り組んでいる」を実現できるよう努めます。

「自然との共生」では、コロナ禍により開催できなかったイベントや催事関連の指標が復調の兆しを見せています。イベントでは、地元の事業者団体等に案内を送付し、参加者を募ったイベントもあり、参加者数の増加が見受けられます。

「公害の防止」では、各種調査を適切に行うことで、必要な周知、指導を実施できています。速やかな現地調査による原因特定や適切な指導が問題の収束につながると考えるため、継続していきます。また、ぐるっとくんの年間利用者も増加しており、新たな生活様式が浸透してきていることが伺えます。

「快適環境の構築」では、市民農園の需要が高まっており、市民農園利用者数・新規市民農園開設数が増加しています。農地の保全・活用を推進するため、市民農園の制度について周知を行い、相談があれば受け付けます。また、景観保全のため、歩道リニューアル工事におけるユニバーサルデザイン化や、放置自転車対策を進めました。

「循環型社会の形成」では、リサイクルを推進するため、ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリ等での啓発や、地域リサイクル事業報奨金による団体への支援を行いました。

「低炭素社会の構築」では、省エネ対策推進奨励金において、次世代自動車に対する注目から、申請件数が増加しています。また、市役所各所属において、職場計画書を作成し、環境に配慮した活動が見受けられ、温室効果ガス排出量が削減されています。令和3年度に宣言したゼロカーボンシティの実現に向けて、着実に進んでいると評価できます。

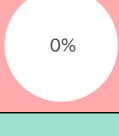
「環境活動の活発化」では、市内中学校や上尾駅自由通路において、環境パネル展示を実施し、事業者や団体の活動内容について、広く周知できたと考えます。また、公民館における市民向け講座においては、SDGsについて取扱い、関心の高い内容であったことから、目標参加者数を上回りました。

「自然との共生」「環境活動の活発化」では、コロナ禍の影響で開催できなかったイベントもまだあるため、目標値に届かなかったものがあります。開催しているイベントを参考に、周知方法など改善を図る必要があります。

「公害の防止」では、工場・事業場の排水基準が不適合だった事業所があり、適合率が目標値に届きませんでした。定期的な監視を行い、排水基準を満たすよう指導を続けます。

「循環型社会の形成」では、廃棄物の最終処分割合が増加しています。令和2年10月から令和3年8月にかけて破碎処理施設が停止していたことにより、例年より比較が困難であったため、精査が必要です。また、西貝塚環境センターに持ち込まれるリサイクル品が少なくなっていますが、市民のリユースやリサイクル意識の向上していることが伺えます。今後の傾向を注視し、目標値などの精査が必要です。

「低炭素社会の構築」では、省エネ対策推進奨励金の件数のうち省エネ設備の件数が減っておりますが、同奨励金の次世代自動車の申請件数の増加等により、相対的に減っています。引き続き広く周知に努め、普及促進に努めます。

望ましい環境像	環境目標	環境目標 進捗度	施策	施策 進捗度	業務指標	業務指標 進捗度		
<p>〇〇〇 持低安〇 続炭全と 可素で 能かつの な安心 ま心ふ ち源れ 【あ環い げ環ら おせや を社ま を次成 代に景 へ市観 と市成 つ民切 な・に い事行 で業政 い者一 る者体 るで る取 る組 るん で い る</p>	自然との共生		〈1〉生物多様性への取組	25%	緑地面積	—		
					25%	緑地率	—	
					100%	100%	自然観察会の参加者数(累計)(生物多様性への取組)	×
					100%	100%	特定外来生物の駆除数(アライグマ)	○
				〈2〉自然とのふれあいの促進	100%	自然学習館におけるイベントの参加率	○	
					100%	自然観察会の参加者数(累計)(自然とのふれあい)	○	
					100%	農業体験教室の開催数(作付け・収穫)	○	
				〈3〉緑地の保全・創出	60%	緑地面積(再掲)	—	
					60%	緑地率(再掲)	—	
					60%	森林環境譲与税基金積立額	○	
					60%	協定締結公園数	○	
					60%	樹木管理公園数	○	
				〈4〉水辺環境の保全・整備	100%	主要河川パトロール回数	○	
					100%	水路等パトロール回数	○	
					100%	河川における不法投棄の件数	○	
		公害の防止		〈5〉大気汚染の防止	100%	立入事業所件数	○	
					100%	アイドリングストップ指導率	○	
					25%	ぐるっとくんの年間利用者数	○	
				25%	25%	河川調査地点数	○	
			〈6〉水質汚濁の防止	25%	工場・事業場の排水基準の適合率	×		
				25%	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換件数	×		
				25%	公共下水道の普及率	×		
			〈7〉騒音・振動の防止	100%	道路騒音・振動にかかる要請限度の達成率	○		
				100%	工業地域及び準工業地域における地区計画策定数(累計)	○		
			〈8〉その他の公害の防止	100%	悪臭発生源への指導実施率	○		
				100%	ダイオキシン類等の環境基準の達成状況(大気)	○		
				100%	野焼きパトロール回数	○		
	快適環境の構築		〈9〉公園の整備	60%	都市公園の面積	—		
				60%	市民1人当たりの都市公園面積	○		
				60%	60%	可住地面積当たりの公園面積の割合	○	
				60%	60%	協定締結公園数(再掲)	○	
				60%	改修を行った公園箇所数	—		
			〈10〉農地の保全・活用	80%	市民農園利用者数	○		
				80%	新規市民農園開設数(累計)	○		
				80%	農業従事者1人当たりの経営耕地面積	○		
				80%	全農地に占める遊休農地面積の割合	×		
				80%	学校給食における上尾市産米使用回数	○		
			〈11〉環境美化の推進	50%	クリーン上尾運動参加者一人当たりごみ回収量	○		
				50%	ごみ散乱防止ネットの配布件数	×		
			〈12〉景観の保全・整備	50%	地区計画策定数(累計)	○		
				50%	無電柱化整備延長	—		
				50%	違反屋外広告物看板の撤去枚数	×		
				50%	撤去した自転車台数	○		
	循環形成社会の		〈13〉ごみの発生抑制(Reduce)の推進	0%	ごみに関する出前講座受講者数(累計)	×		
				0%	0%	廃棄物の最終処分割合	×	
			〈14〉ごみの再利用・再資源化(Reuse、Recycle)の推進	0%	地域リサイクル活動による資源回収割合	×		
				0%	リサイクル品の持ち込み数	×		
	低炭素社会の構築		〈15〉省エネルギー・再生可能エネルギーの推進	55%	世帯当たりの太陽光発電設置割合	○		
				55%	55%	太陽熱を利用した温水機器等がある住宅の割合	—	
				55%	55%	太陽熱を利用した発電機器がある住宅の割合	—	
				55%	55%	省エネに関する出前講座受講者数	○	
				55%	55%	省エネ対策推進奨励金申請件数(省エネ設備)	×	
				55%	55%	省エネ対策推進奨励金申請件数(次世代自動車)	○	
				55%	55%	省エネ対策推進奨励金申請件数(その他省エネ対策)	×	
				55%	55%	市の公共施設および事務事業からの温室効果ガスの削減率	○	
			55%	55%	市の公共施設および事務事業からの温室効果ガス排出量	○		
				55%	ぐるっとくんの年間利用者数(再掲)	○		
				55%	自転車レーンの整備延長	×		
			〈16〉地球温暖化への適応策の推進	50%	雨水貯留タンク設置補助件数	×		
				50%	イッモ防災講座(マイタイムラインを含む)受講者数	○		
	環境活動の活発化		〈17〉環境教育・環境学習の推進	75%	環境推進協議会学習会参加者数	×		
				75%	75%	市内小中学校での環境パネルの展示回数	○	
				75%	温暖化対策講座実施校数	○		
				75%	環境学習講座参加者数	○		
			〈18〉協働による環境活動の推進	50%	あげお環境賞受賞団体の紹介件数	○		
				50%	50%	クリーン上尾運動参加人数	×	